HITACHI

FLORA 210W NL3

(Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System)

4

使い勝手を良くする

マニュアルはよく読み、保管してください。
・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
・このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

このマニュアルの使い方

このマニュアルでは、パソコンを使いやすくする設定や、トラブルの解決方法を説明します。必要に応じてお読みください。

■「1 章　使い勝手を調節する」
パソコンを使いやすくする設定を説明します。

■「2 章　消費電力を節約する」
パソコンを使わない間、消費電力を節約する方法を説明します。

■「3 章　付属ソフトウェアの使い方」
付属ソフトウェアの設定方法や役割について説明します。

■「4 章　追加セットアップ」
ドライバーやアプリケーションを個別にセットアップする方法を説明します。

■「5 章　パソコン Q&A」
パソコンの調子がおかしいときや、わからないことがあったときにお読みください。また、『パソコンを準備する』の「トラブルを解決するときには」も、併せてお読みください。

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。

マニュアル内で使用している画面およびイラストは一例です。説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、一部省略している場合があります。URL、メールアドレスなどは、マニュアル制作時点のものです。

もくじ

1 章

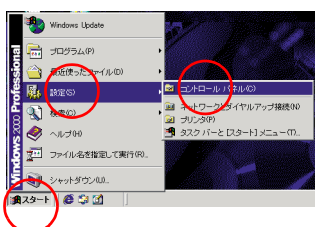
使い勝手を調節する

この章では、ポインティングパッドやマウスの調整、ワンタッチキーの設定など、パソコンを使いやすくする方法を説明します。

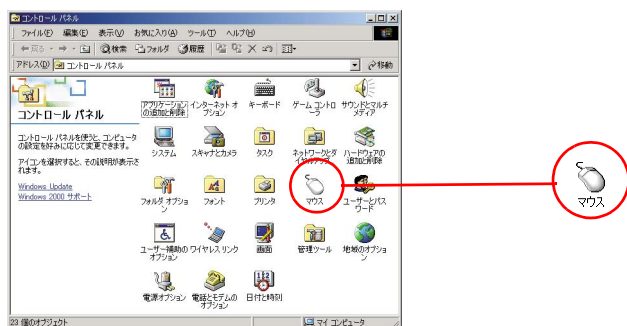
ポインティングパッドを調整する

ダブルクリックの速度や、マウスポインターの動く速さなど、ポインティングパッドやマウスの設定を自分の使い方に合わせましょう。設定は、[マウスのプロパティ] で変更します。

[マウスのプロパティ] を開く

1 [スタート] ボタンをクリックする。

2 [設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックする。

▼ [コントロールパネル] 画面が表示される。

3 [マウス] アイコンをダブルクリックする。

▼ [マウスのプロパティ] 画面が表示される。

参照

マウスの使い方→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2 章の「マウス、テンキーボード」「操作方法」

[マウスのプロパティ] で調節できる主な設定

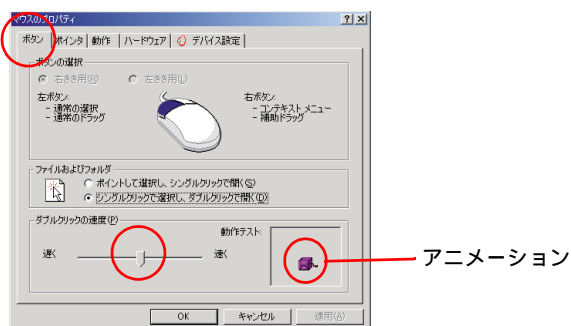
・クリックボタンの左右の機能を入れ替えたり、ほかの機能を割り当てる
  ([ボタンの動作] タブ)
・ダブルクリックの速度を変える ([ボタン] タブ)
・マウスカーソルの速度を変える ([動作] タブ)
・キー入力時、ポインティングパッドによる誤動作を防ぐ ([タッチ] タブ)

ダブルクリックの速度を変える

1 [マウスのプロパティ] の [ボタン] タブをクリックする。

2 ダブルクリックの速度のを [遅く] または [速く] の方向にドラッグする。

3 アニメーションの上にカーソルを移動させ、ダブルクリックする。

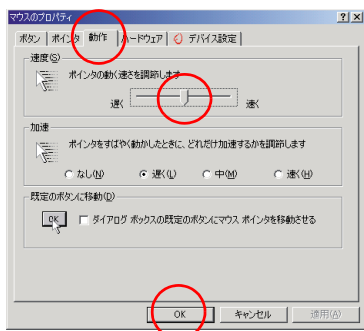
▼変更した速さでダブルクリックすると、アニメーションが変わる。

4 [OK] ボタンをクリックする。

▼ダブルクリックの速度が変わる。

マウスポインターの動く速さを変える

1 [マウスのプロパティ] の [動作] タブをクリックする。

2 [速度] の を [遅く] または [速く] の方向にドラッグする。

▼ マウスポインターの動く速さが変わります。

3 [OK] ボタンをクリックする。

▼ 指定したマウスポインターの動く速さに設定される。

ディスプレイの表示を変える

ここではディスプレイの明るさや表示を変更する方法を説明します。

ディスプレイの明るさを変える

暗くする

■[Fn]+[F6](▼☼)

[Fn] キーを押しながら、[F6] キーを押すと画面が暗くなります。
押すたびに暗くなります。

明るくする

■[Fn]+[F7](▲☼)

[Fn] キーを押しながら、[F7] キーを押すと画面が明るくなります。
押すたびに明るくなります。

ヒント
★ 暗くするとバッテリーの消費が少なくなり、明るくするとバッテリーの消費が多くなります。

ディスプレイの表示を変える

ディスプレイの表示を細かく設定することで見やすく目の疲れにくい画面表示にできます。設定は、[画面のプロパティ] で行います。

[画面のプロパティ] の開き方

1 **[スタート]ボタン－[設定]－[コントロールパネル]をクリックする。**

▼[コントロールパネル] が開く。

2 **[画面] アイコンをクリックする。**

▼[画面のプロパティ] が表示される。

画面の領域、色、フォントの設定

1 ［画面のプロパティ］の［設定］タブで、画面の領域や画面の色を、［詳細］ボタンの［全般］タブでフォントサイズを設定する。
次の表の組み合わせに従って設定したあと、［適用］ボタン、［OK］ボタンをクリックする。

画面の領域	画面の色	フォントサイズ（DPI 設定）
640 × 480	256 色	小さいフォント 大きいフォント その他
	High Color（16 ビット）	
	True Color（24 ビット）	
800 × 600	256 色	
	High Color（16 ビット）	
	True Color（24 ビット）	
1024 × 768	256 色	
	High Color（16 ビット）	
	True Color（24 ビット）	

＊ High Color(16 ビット) は 65536 色、True Color(24 ビット) は 1677 万色です。ただし、ディスプレイによっては True Color(24 ビット) に設定しても実際は 1677 万色以下になります。

2 以降、表示されるメッセージに従って操作する。

▼画面の表示モードが設定される。

・表示モードによってはディスプレイの表示領域の位置やサイズが異なります。ディスプレイ側で画面を調節してください。調節の方法については、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。

重要

◎ 設定はアプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと、正しく動作しないことがあります。

ヒント

★ ［背景］タブでデスクトップの壁紙を変更できます。

・アプリケーションによっては、スクロールしたりウィンドウの移動を行ったりしたときに表示の一部が欠けたり乱れたりすることがあります。この時は、再描画してください。
・パソコンのディスプレイと外付けのディスプレイに同時表示する場合、いずれのディスプレイもパソコン側の最大領域（1024 × 768）に設定してご使用ください。

リフレッシュレートの設定

外付けディスプレイにのみ表示して使用しているときは、必要に応じて外付けディスプレイのリフレッシュレートを設定できます。リフレッシュレートとは、1 秒間にディスプレイの画面を書き換える回数を指します。この数値が高いほどちらつきが少なく、目に負担を与えない画面表示になります。

1 [画面のプロパティ] の [設定] タブで、[詳細] ボタンをクリックし、プロパティーを開く。

2 [モニタ] タブの [モニタの設定] でリフレッシュレートを選択し、[OK] ボタン (または [適用] ボタン) をクリックする。

3 [モニタの決定] が表示されるので [はい] ボタンをクリックする。

リフレッシュレートの詳細な設定についてはディスプレイに付属のマニュアルをご参照ください。

◎ 同時表示、または内蔵ディスプレイのみ表示する場合は、60Hz でお使いください。
◎ 外付けの液晶ディスプレイを使用するときは、60Hz に設定してください。そのほかのディスプレイについては、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。

音量を調整する

ここでは内蔵スピーカーの音量を調整する方法を説明します。外部スピーカーを接続している場合は、外部スピーカーのマニュアルもあわせてご参照ください。

キーボードのキーを使って調整する

■音量を上げる（[Fn] ＋ [F4(▲🔊)]）
[Fn] キーを押しながら、[F4] キーを押すと音量が上がります。

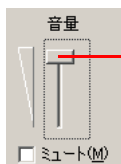
■音量を下げる（[Fn] ＋ [F3(▼🔊)]）
[Fn] キーを押しながら、[F3] キーを押すと音量が下がります。

■音を消す（[Fn] ＋ [F10]）
[Fn] キーを押しながら、[F10] キーを押すと音が鳴りません。
もう一度押すと元に戻ります。

[音量] アイコンで調整する

1 タスクバーの [音量] アイコンをクリックする。

▼ [音量] を調整するスライドバーが表示される。

2 スライドバーを上下にドラッグして、音量を調整する。

ヒント
★ [ミュート] にチェック (☑) が付いていると、音が鳴りません。

[ボリュームコントロール]で調整する

1 **タスクバーの [音量] アイコンをダブルクリックする。**

▼ [ボリュームコントロール] 画面が表示される。

2 **音量やバランスを調整したい箇所のスライドバーをドラッグする。**

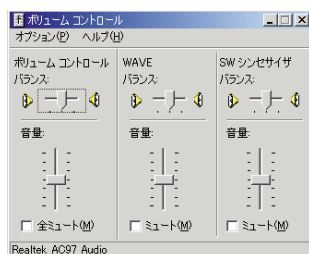
タスクバーに [音量] アイコンが表示されていないときは

1 **[スタート]ボタン－[設定]－[コントロールパネル]をクリックする。**

▼ [コントロールパネル] が表示される。

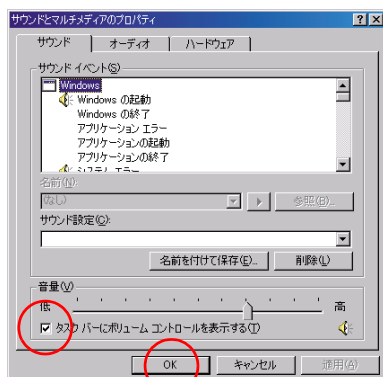
2 **[サウンドとマルチメディア] アイコンをダブルクリックする。**

▼ [サウンドとマルチメディアのプロパティ] 画面が表示される。

3 **[サウンド] タブの「タスクバーにボリュームコントロールを表示する」にチェックを付け、[適用] ボタンを押す。**

ヒント

★ [スタート] ボタン－ [プログラム] － [アクセサリ] － [エンターテイメント] － [ボリュームコントロール] の順にクリックしても、[ボリュームコントロール] 画面が表示できます。

★ [ミュート] にチェック (✔) が付いていると、音が鳴りません。

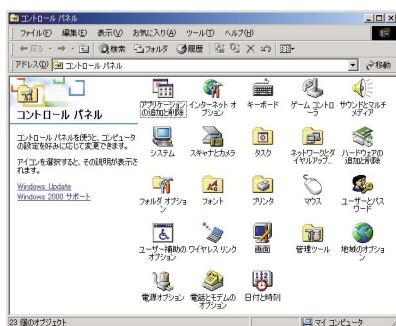
◎ [ボリュームコントロール] の [音量] を最低にしても、音が消えない場合があります。[全ミュート] に (✔) を付けてください。

4 [OK] ボタンをクリックする。

システムの設定を確認する

パソコンのメモリー容量や CPU などを確認しましょう。

Windows のバージョンやメモリー量を確認する

1 [コントロールパネル] 画面を表示する。

2 [システム] アイコンをダブルクリックする。

▼ [システムのプロパティ] 画面が表示される。

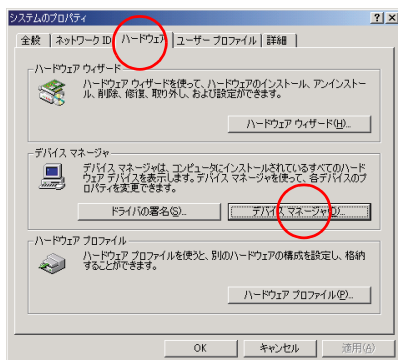
3 システムの設定を確認する。

4 [OK] ボタンをクリックする。

割り込み要求 (IRQ) や I/O ポートアドレスを確認する

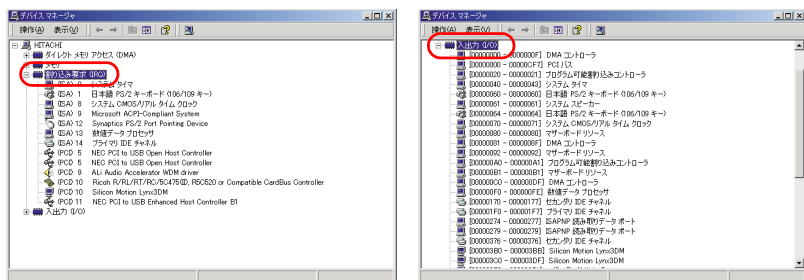
1 [システムのプロパティ] を表示する。

2 [ハードウェア] タブをクリックし、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスマネージャ] が表示される。

3 [表示] − [リソース (種類別)] の順にクリックする。

▼ 画面が切り替わる。

4 [割り込み要求 (IRQ)] または [入出力 (I/O)] をダブルクリックする。

▼ 選んだ項目の設定がリスト表示される。

パスワードで保護する

ここではパスワードの設定方法を説明します。必要なときにだけ設定してください。パスワードを設定すると、正しいパスワードを入力した人だけがパソコンを立ち上げたり、BIOS メニューの内容を変更したりできます。パスワードは BIOS メニューで設定します。
操作の前に、必要なページを印字してください。

設定できるパスワード

Supervisor Password

パソコンを立ち上げるときや BIOS メニューを立ち上げるときにパスワードを入力します。BIOS メニューのすべての設定を変更できます。

User Password

パソコンを立ち上げるときや BIOS メニューを立ち上げるときにパスワードを入力します。Supervisor Passsword を設定したあとで設定できます。
BIOS メニューでは、次の設定を変更できません。

[Main] 画面	[System Time]、[System Date] 以外は設定できません。
[Advanced] 画面	[Display]、[Resolution Expansion] 以外は設定できません。
[Security] 画面	[Set User Password]、[Set Hard Disk Password]*1 以外は設定できません。 *1[Change Hard Disk Password] が [Enabled] の場合のみ
[Boot] 画面	すべて設定できません。
[Exit] 画面	[Exit Saving Changes]、[Exit Discarding Changes] 以外は選べません。

Hard Disk Password

Change Hard Disk Password を「Enable」に設定したあとで設定できます。
HDD にパスワードを設定するので、パスワードを知らない人は、HDD の中身を確認できません。

重要

◎ パスワードを設定したときは、パスワードをメモにとり安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。忘れてしまった場合は、有償での対応となります。

参照

お問い合わせについて→『パソコンを準備する』の「お問い合わせ先」

重要

◎ パスワードを設定すると、パスワードの入力画面が表示されます。このとき誤ったパスワードを 3 回入力すると、パソコンが操作できなくなります。この場合は、一度パソコンの電源を切ってやり直してください。

◎ BIOS メニューの内容は、ここで説明する以外のものは変更しないでください。変更するとパソコンが正しく動作しないことがあります。

◎ User Password で設定したパスワードは、クレードルに接続して使用する場合のパスワードとして使用されます。

重要

◎ Hard Disk Password を忘れた場合には、データの回復はできません。

BIOS メニューを表示する

パスワードをはじめて登録する

パスワードを設定するために、BIOS メニューを立ち上げます。

1 パソコンの電源を入れる。
パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F12> to enter Boot Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

▼ BIOS メニューが表示される。

```
                     PhoenixBIOS Setup Utility
  Main    Advanced    Security    Boot    Exit

                                            Item Specific Help
  System Time:              [xx:xx:xx]
  System Date:              [xx/xx/xxxx]
                                            <Tab>, <Shift-Tab>, or
▶ Hard Disk Type            [xxxxxMB]       <Enter> selects field.

                                            <F5> or <-> selects
  CPU Information:          xxxxxx  x.xGHz  next lower value.
  Code Mophing Software:    x.x.x-x-xxx

  System Memory:            624 KB          <F6> or <Space>
  Extended Memory:          xxx MB          selects next higher
  BIOS Version:             x.xxxxx         value.
  EC/KBC Version:           x.xx

F1  Help  ↑↓  Select Item  -/Space Change Values      F9  Setup Defaults
Esc Exit  ←→  Select Menu  Enter   Select ▶ Sub-menu  F10 Save and Exit
```

2 [←]、[→] キーで、[Security] を選ぶ。

▼ [Security] 画面が表示される。

重要

◎ Password on boot は、Set Supervisor Password が設定されていないと有効になりません。また、Hard Disk Password と併用した場合は、立ち上げ時に Hard Disk Password が先に要求されます。

```
                     PhoenixBIOS Setup Utility
  Main      Advanced    Security    Boot      Exit

 Set Supervisor Password:     [Enter]        Item Specific Help
 Set User Password:           [Enter]       Supervisor Password:
                                            controls access to the
 Password on boot:            [Disabled]    setup utility.

 Change Hard Disk Password:   [Disabled]
 Set Hard Disk Password:      [Enter]

F1   Help   ↑↓  Select Item  -/Space  Change Values       F9   Setup Defaults
Esc  Exit   ←→  Select Menu  Enter    Select ▶ Sub-menu   F10  Save and Exit
```

パスワードを設定する

1 **[↑] または [↓] キーで、[Set Supervisor Password] を選び、[Enter] キーを押す。**

▼ パスワード入力画面が表示される。

```
         Set Supervisor Password:

   Enter New Password        [          ]
   Confirm New Password      [          ]
```

2 **半角 8 桁以内の数値または文字でパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

▼ カーソルが [Confirm New Password] に移動する。

3 **再度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

▼ 次の画面が表示される。

```
              Setup Notice

        Changes have been saved .
              [ Continue ]
```

ヒント

★ パスワードの設定を途中でやめるときは、[Esc] キーを押します。

ヒント

★ パスワードには数字の 0 ～ 9 とアルファベットの小文字の a ～ z が使えます。

重要

◎ パスワードはメモにとり安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。忘れてしまった場合は、有償での対応となります。

参照

お問い合わせについて→『パソコンを準備する』の「お問い合わせ先」

4 [Enter] キーを押す。

▼ [Security] 画面に戻る。
再度入力したパスワードが間違っていると、次の画面が表示される。

```
Setup Warning

Passwords do not match .
Re - enter password .

[ Continue ]
```

その場合は、次の手順を行う。

5 [Enter] キーを押して、手順 2 からやり直す。パスワードの入力を中止するときは、[Esc] キーを押す。

6 必要に応じて、[Set User Password]、[Password on boot]、[Set Hard Disk Password] を設定する。

パスワードの設定を保存する

設定したパスワードを保存して、BIOS メニューを終了します。

1 [Esc] キーを押す。

▼ [Exit] 画面が表示される。

2 [↑]、[↓] キーで [Exit Saving Changes] を選び、[Enter] キーを押す。

▼ 設定内容を保存する確認のメッセージが表示される。

```
Setup Confirmation

Save configuration changes and exit now?
[Yes]     [No]
```

3 [←]、[→] キーで [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

▼ 設定したパスワードが保存され、BIOS メニューが終了し、パソコンが立ち上げ直される。

ヒント

★ **パスワードを設定しない場合は [No] を選び、[Enter] キーを押してください。**

設定したパスワードを変更する

1 **BIOS メニュー画面で [Security] メニューを選ぶ。**

2 **[Set Supervisor Password] または [Set User Password] を選び、[Enter] キーを押す。**

3 **[Enter Current Password] に、現在使用しているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

▼カーソルが [Enter New Password] に移動する。

4 **パスワードの設定と同様に、半角 8 桁以内の数値または文字で新しいパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

5 **変更内容を保存して BIOS メニューを終了する。**

パスワードを削除する

1 **BIOS メニュー画面で [Security] メニューを選ぶ。**

2 **[Set Supervisor Password] または [Set User Password] を選び、[Enter] キーを押す。**

3 **[Enter Current Password] に、現在使用しているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。**

▼カーソルが [Enter New Password] に移動する。

4 **各項目にパスワードを入力しないで [Enter] キーを押す。**

▼パスワードが解除される。

5 **変更内容を保存して BIOS メニューを終了する。**

ハードディスクパスワードを設定する

HDD にパスワードを設定します。設定すると、パソコン立ち上げ時にパスワードを入力する必要があります。

1 [Change Hard Disk Password] を選び、[Enabled] にする。

2 [Set Hard Disk Password] を選び、[Enter] キーを押す。

▼ パスワード入力画面が表示される。

パスワードの設定を途中でやめるときは、[Esc] キーを押します。

3 半角 8 桁以内の数値または文字でパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼ カーソルが [Confirm New Password] に移動する。

4 再度同じパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼ 次の画面が表示される。

```
Setup Notice

Changes have been saved .
[ Continue ]
```

5 [Enter] キーを押す。

▼ [Security] 画面に戻る。
再度入力したパスワードが間違っていると、次の画面が表示される。

```
Setup Warning

Passwords do not match .
Re - enter password .

[ Continue ]
```

その場合は、次の手順を行う。

6 [Enter] キーを押して、手順 3 からやり直す。
パスワードの入力を中止するときは、[Esc] キーを押す。

重要

◎ パスワードを設定したときは、パスワードをメモにとり安全な場所に保管し、忘れないようにしてください。忘れてしまった場合は、有償での対応となります。

◎ 何らかの問題で、HDD の処理や調整・交換が発生した場合は、必ずパスワードを解除するか、保守員にパスワードをお知らせください。パスワードが解らない場合は、保守対応ができなくなります。

◎ Hard Disk Password は、HDD をフォーマットしても消去できません。

◎ Hard Disk Password が設定されている場合、クレードルに接続しても、エクスプローラ上では認識できません。

7 必要に応じて、[Change Hard Disk Password] を [Disabled] に変更する。

[Change Hard Disk Password] を [Disabled] にしておくと、User Password で BIOS メニューを立ち上げたときに、Hard Disk Password の設定は変更できなくなります。不用意に Hard Disk Password を設定、変更されたくないときは、Supervisor Password を設定して [Change Hard Disk Password] を [Disabled] にして使用されることをおすすめします。

ハードディスクパスワードを変更する

1 [Set Hard Disk Password] を選び、[Enter] キーを押す。

[Change Hard Disk Password] を [Enabled] にしないと、[Set Hard Disk Password] は選べません。

2 [Enter Current Password] に、現在使用しているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼カーソルが [Enter New Password] に移動する。

3 パスワードの設定と同様に、半角 8 桁以内の数値または文字で新しいパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

4 変更内容を保存して BIOS メニューを終了する。

ハードディスクパスワードを削除する

1 [Set Hard Disk Password] を選び、[Enter] キーを押す。

[Change Hard Disk Password] を [Enabled] にしないと、[Set Hard Disk Password] は選べません。

2 [Enter Current Password] に、現在使用しているパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

▼カーソルが [Enter New Password] に移動する。

3 各項目にパスワードを入力しないで [Enter] キーを押す。

▼パスワードが解除される。

4 変更内容を保存して BIOS メニューを終了する。

Wake on LAN を設定する

ネットワークからパソコンを立ち上げる信号が流れたときに、パソコンを立ち上げることができます。これを Wake on LAN といいます。

Wake on LAN できる状態

スタンバイ状態のとき、パソコンを立ち上げることができます。

Wake on LAN の設定

Windows の設定

工場出荷状態では Wake on LAN できるように設定されていません。

1 **パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **[デバイスマネージャ] を開き、[ネットワークアダプタ] の [Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC] をダブルクリックする。**

▼ [Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC のプロパティ] が表示される。

3 **[電源管理] タブの [電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフできるようにする] および [このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする] をチェックする。**

4 **[詳細設定] タブの [WakeUp on ARP/PING] の [値] を [Disable] に変更し、[OK] ボタンをクリックする。**

別のディスクから立ち上げる

パソコンの立ち上げ時にどのドライブから立ち上げるか、優先順位を設定します。
操作の前に、このページを印字してください。

1 パソコンの電源を入れる。

パソコンの立ち上げ中、画面下部に「Press <F12> to enter Boot Menu」と表示されたら、[F2] キーを押す。

▼BIOS メニューが表示される。

2 [←]、[→] キーで [Boot] を選ぶ。

▼[Boot] 画面が表示される。

3 [↑]、[↓] キーで [Boot Sequence] を選び、[Enter] キーを押す。

▼[Boot Sequence] 画面が表示される。

```
PhoenixBIOS Setup Utility
                          Boot

 +Hard Disk Drive                    Item Specific Help
  Floppy Disk Drive               Use < ↑ > or < ↓ > to
  CD-ROM Drive                    select a device, then
  Network Boot                    press <Space> to move
                                  it up the list, or <->
                                  to move it down the
                                  list.
                                  Press <Esc> to exit
                                  this menu.

F1  Help  ↑↓  Select Item  -/Space Change Values     F9  Setup Defaults
Esc Exit  ←→  Select Menu  Enter   Select ▶Sub-Menu  F10 Save and Exit
```

4 優先順位を上げたいドライブを [↑]、[↓] キーで選び、[SPACE] キーを押す。

▼選んだドライブの優先順位が 1 つ上がります。

5 必要に応じて手順 4 を繰り返す。

2 章

消費電力を節約する

この章では、パソコンの消費電力を節約する方法について説明します。

節電機能とは

CPU や HDD、ディスプレイの働きを一時的に停止させることで、消費電力を節約できます。この機能を節電機能といいます。節約している状態を節電状態と呼びます。

節電機能の種類

機能	内容	ランプの状態
パソコン全体の節電（スタンバイ）	・CPU クロックを一時的に停止する ・接続した周辺機器への供給電力を減らす ・ディスプレイを消す ・HDD のモーターを停止する	・電源ランプ点滅
パソコン全体の節電（休止状態）	・現在の使用状況を HDD に保存し、パソコンの電源を切る	・電源ランプ消灯
ディスプレイの節電	・ディスプレイを消す ・表示チップの省電力モードを有効にする	・電源ランプ点灯
HDD の節電	・HDD のモーターを停止する	

重 要

◎ アプリケーションによってはその使用中に節電機能にならなかったり、節電機能が働くまでに時間がかかることがあります。

◎ USB スピーカーを接続しているときは、スタンバイは使用できません。

節電する

消費電力を自動で節約したり、特定のボタンを押して節約できます。

自動で節電する

パソコンをしばらく操作しないでいると、自動で消費電力が節約されます。
どのくらいの時間で節電されるかは、［コントロールパネル］の［電源オプション］で設定します。

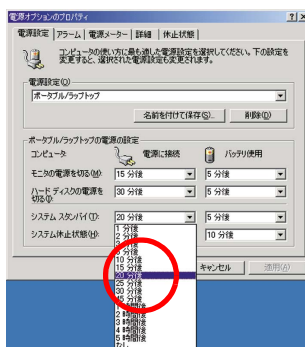
●標準の状態 (AC 電源での使用時)
・ 15 分操作しないと・・・・ディスプレイが節電される
・ 20 分操作しないと・・・・パソコン全体の節電 (スタンバイ状態) になる

時間を設定する

1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする。

▼ [電源オプションのプロパティ] 画面が表示される。

2 [電源設定] タブで、各項目にどのくらいパソコンを操作しないでいると節電状態になるかを設定する。

・モニタの電源を切る　　　　：ディスプレイの節電
・ハードディスクの電源を切る：HDD の節電
・システムスタンバイ　　　　：パソコン全体の節電（スタンバイ）
・システム休止状態　　　　　：パソコン全体の節電（休止状態）

3 [適用] ボタンをクリックする。

◎ 「システムスタンバイ」を設定しても、時間通りに節電状態にならないことがあります。
◎ 「システムスタンバイ」と「モニタの電源を切る」を同じ時間に設定にしないでください。パソコンが正しく動かないことがあります。
◎ AC 駆動時、バッテリー駆動時、それぞれの時間を設定できます。
◎ 「システム休止状態」が表示されないときは、「休止状態」タブで「休止状態をサポートする」にチェック (✓) を付けて [適用] ボタンをクリックしてください。標準では、チェックは付いています。

すぐに節電

パソコンから離れるときなどに、次のようにして消費電力を節約できます。

[スタート] ボタンから節電

1 **[スタート] ボタンをクリックし、[シャットダウン] をクリックする。**

2 **[▼] をクリックし、[スタンバイ] または [休止状態] にして、[OK] ボタンをクリックする。**

▼ スタンバイまたは休止状態になる。

電源スイッチで節電

[Fn] キーを押しながら [F12] キーを押すと、スタンバイ状態になります。

この設定は [コントロールパネル] の [電源オプション] で行います。[電源オプション] の設定を変えると、ディスプレイを閉じたり、電源スイッチを押したときに節電状態にすることもできます。

■標準の状態

・ディスプレイを閉じたとき　：なし（画面表示が消える）
・電源スイッチを押したとき　：電源オフ
・[Fn]+[F12] キーを押したとき ：休止状態

■設定方法

1 **[スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする。**

▼ [電源オプションのプロパティ] 画面が表示される。

重要

◎ 音声や動画ファイルを再生中は、ここで説明する方法は行わないでください。節電状態から復帰したとき、正しく音声や動画ファイルを再生できないことがあります。

重要

◎ スタンバイ状態にするときは電源ランプが点滅するまで、また、休止状態にするときは電源ランプが消灯するまで、キーボードのキーを押したり、マウスを動かさないでください。復帰したときに、キーボードやマウスが動作しなくなることがあります。

ヒント

★ ポインティングパッドに指などが触れていると、[Fn] ＋ [F12] キーを押しても、節電状態にならないことがあります。

★ 「電源オフ」は、[Windows の終了シャットダウン] から Windows を終了するのと同様に、4 秒未満電源スイッチや [Fn] ＋ [F12] キーを押すことで電源を切る機能です。

2 [詳細] タブで、各項目を「スタンバイ」や「休止状態」に設定する。

・ポータブルコンピュータを閉じたとき（ディスプレイを閉じたとき）
・コンピュータの電源ボタンを押したとき（電源スイッチを押したとき）
・コンピュータのスリープボタンを押したとき（[Fn] ＋ [F12] キーを押したとき）

3 [適用] ボタンをクリックする。

ヒント

★ [ポータブルコンピュータを閉じたとき] を「なし」に設定しても、画面表示は消えます。

★「休止状態」が表示されないときは、「休止状態」タブで「休止状態をサポートする」にチェック（☑）を付けて [適用] ボタンをクリックしてください。標準では、チェックは付いています。

節電状態から復帰する

節電状態から復帰させるには、次のように操作してください。

ディスプレイの節電状態からの復帰

・[Shift] などのキーを押す
・ポインティングパッドやマウスを操作する

ハードディスクの節電状態からの復帰

・HDD にアクセスする操作を行う

スタンバイからの復帰

・パソコンの電源スイッチを押す

外付け USB マウスの操作でスタンバイから復帰したい場合、次のとおり設定を変更してください。

1 **管理者権限でログオンする。**

2 **[デバイスマネージャ] を開き、[マウスとそのほかのポインティングデバイス] 以下の USB マウスの名称をダブルクリックする。**

▼ プロパティ画面が表示される。

3 **[電源の管理] タブを開き、「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする。」にチェックを付けて [OK] ボタンをクリックする。**

重要

◎ 節電状態から復帰させるときは、20 秒以上時間をおいてください。20 秒未満で復帰させると、キーボードやマウスが正しく動かないことがあります。
◎ スタンバイ状態中にキー入力を行うと、入力したキーが復帰後に有効になることがあります。

重要

◎ パソコンの電源スイッチは4秒以上押さないでください。電源が強制的に切れます。
◎ ソフトウェアの環境によってスタンバイから復帰できないことがあります。この場合は、スタンバイ以外の節電をご使用ください。

休止状態からの復帰

・ パソコンの電源スイッチを押す

重 要

◎ 休止状態で、FD や CD-ROM などのディスクをドライブに入れないでください。休止状態から復帰したとき、ディスクから立ち上がらなかったり、エラーメッセージが表示されることがあります。このときは、ディスクを取り出し、[Ctrl] と [Alt] キーを押しながら [Delete] キーを押して立ち上げ直してください。

◎ 休止状態からの復帰時に数秒画面が乱れる場合がありますが、動作に問題はありません。

節電機能を使わないようにする

節電状態になるとパソコンが正しく動かなかったり、データが壊れることがあります。ここでは、どんなときに使わないようにするか、またその設定の仕方を説明します。

節電機能を使わないようにするとき

次のときは、スタンバイにならないようにしてください。これらの機能･プログラムでデータを扱っている最中に節電機能が働くと、データが失われることがあります。

・ 再セットアップ中
・ システムやアプリケーションの立ち上げ中
・ ディスク (HDD、FD、CD-ROM など) の読み書き中
・ 通信カード、通信ソフトで節電機能の使用が制限されている場合
・ プリンターの印字中

節電機能を使わないようにするには

次の手順で、節電機能が働かないようにできます。

1 **[スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックして、[コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする。**

▼ [電源オプションのプロパティ] 画面が表示される。

2 **[電源設定] タブの各項目を｢なし｣に設定する。**

･[モニタの電源を切る]
･[ハードディスクの電源を切る]
･[システムスタンバイ]
･[システム休止状態]

3 **[詳細] タブの各項目を「なし」または「電源オフ」に設定する。**

･[ポータブルコンピュータを閉じたとき]
･[コンピュータの電源ボタンを押したとき]
･[コンピュータのスリープボタンを押したとき]

3 章

付属ソフトウェアの使い方

この章では、付属ソフトウェアの使い方を説明します。

付属ソフトウェアの使い方

このパソコンに付属しているソフトウェアについて説明します。

LAN ドライバー

LAN を使うためのドライバーです。

無線 LAN ドライバー

無線 LAN を使うためのドライバーです。

サウンドドライバー

サウンド機能を使用する場合に必要なドライバーです。

表示ドライバー

ディスプレイ表示を細かく設定できるようにするためのドライバーです。
細かい表示は、[Lynx3DM+] タブで行います。
[Lynx3DM+] タブは、[画面のプロパティ] の [設定] タブにある [詳細] ボタンをクリックします。[(マルチ モニタ) と Silicon Motion Lynx3DM のプロパティ] の [Lynx3DM+] タブをクリックして開きます。

[画面のプロパティ] または [Lynx3DM+] タブ

■[ディスプレイの切り替え]
表示先を LCD、CRT、または同時表示に切り替えます。
■[デュアルアプリケーション]
デュアルアプリケーションをオンにすることで、マルチディスプレイ表示になります。この機能は使用しないでください。
■[デュアルビュー]
LCD に表示されている一部を選択し、外部モニターに表示することができます。
ただし、次の場合はデュアルビューをオンにすることはできません。
・ 外部モニターが接続されていない場合
・ すでにほかの特殊モードを使用している場合
・ ハードウェアビデオを再生している場合
・ 画面の領域が 1024 × 768 でない場合
・ 画面の色が True Color（24 ビット）である場合

重要

◎ 付属ソフトウェアは、このパソコン以外では使用しないでください。動作を保証できません。
また、ドライバーなどによっては、ハードウェア故障の原因になります。

ヒント

★ 無線 LAN は 1 〜 14ch が使用できます。

参照

同時表示の設定方法→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2 章の「同時表示に戻す」

また、次の場合デュアルビューが自動的にオフされます。
・コントロールパネルプログラムを終了した場合
・Windows を終了した場合
・画面の領域を変更した場合

■[ストレッチ]

画面の領域が 1024 × 768 より小さい範囲に設定している場合、画面の領域を変更せず LCD の画面に表示することができます。
ただし、次の場合はストレッチモードをオンにすることはできません。
・すでにほかの特殊モードを使用している場合
・ハードウェアビデオを再生している場合

■[ショートカット キー]

チェックボックスをオンにしておくと、ショートカットキーを使用することができます。

AirH"IN ドライバー

AirH"IN を使うためのドライバーです。詳しい使い方は、電子マニュアル『AirH"IN 取扱説明書』をご参照ください。

タッチパッドドライバー

ポインティングパッドでスクロールなどの拡張機能を使えるようにするためのドライバーです。
マウスのプロパティーの [デバイス設定] タブで [設定] ボタンをクリックすると、付属ユーティリティーが開き、タッチパッドの機能設定を行うことができます。

ワイヤレス LAN 設定ユーティリティー

無線 LAN の各種設定を行ったり、接続先の変更を行うユーティリティーです。
ご使用するにあたって、ワイヤレス LAN 設定ユーティリティーのインストールと接続設定を行う必要があります。

重 要

◎ **スクロール機能は、アプリケーションによっては機能しないものもあります。**

ヒント

★ **タッチパッドドライバーのスクロール機能は、Office や、Windows 付属のアプリケーション (メモ帳など) で使用できます。**

★ **USB マウスを使用する際、タッチパッド機能を解除するには、次の手順を行ってください。**
1. **[マウスのプロパティ] 画面を開き、[デバイス設定] タブをクリックする。**
2. **[Synaptics Touch Pad ～] が選択されていることを確認して、[無効] ボタンをクリックする。**

ユーティリティーの設定方法

ここでは、PC-CN3300 アクセスポイントへ接続する場合を例に説明します。

1 **Administrator 権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **タスクトレイのワイヤレスLAN設定ユーティリティのアイコンをクリックするか、[スタート]ー[プログラム] より [HITACHI ワイヤレス LAN 設定カードユーティリティ] を選択し開きます。**

▼［ワイヤレス LAN 設定ユーティリティ］画面が表示される。

3 **[設定]タブを開き、[ワイヤレスLAN設定名]に任意の名称を入力します。**

4 **[通信速度] を選択します。（初期値：自動）**

5 **[ネットワーク名 (ESSID)] に接続するアクセスポイントの ESSID を入力するか、[スキャン] ボタンをクリックし、接続を行うアクセスポイントを指定し、[選択] ボタンをクリックします。**

6 **[省電力モード] を [無効] に設定します。（初期値：無効）**

7 **[ワイヤレス LAN 通信モード] を [ステーション経由] に設定します。（初期値：ステーション経由）**

8 **接続するアクセスポイントに暗号キー（WEP）の設定が行われている場合は、[暗号キー（WEP）の設定] を行います。暗号キー（WEP）の設定が行われていない場合は、9. へ進みます。**

■設定方法

● アクセスポイントが WEP64 ビットを設定している場合

(1) [WEP キー] で [40bit / 64bit] を選択します。

(2) [キーの形式] でアクセスポイントと同形式を選択します。（PC-CN3300 の場合、[英数字（ASCII)] を使用します。

(3) [使用する暗号キー] を選択します。（PC-CN3300 の場合、[キー 0] を選択します。）

(4) (3) で指定したキーへアクセスポイントと同じ暗号キーを入力します。

重要

◎ ワイヤレス LAN 設定ユーティリティーは、必ず Administrator 権限のあるユーザーで起動してください。権限のないユーザーがユーティリティーを起動すると、[警告エラー「無線 LAN カードのプロトコル・サービスを開始できません！」] と表示されます。無線 LAN の各設定は、Administrator 権限でログオンして設定しておけば、権限のないユーザーでログオンしても設定値が有効になります。
また、ワイヤレス LAN 設定ユーティリティーは OS を立ち上げたあと、自動的に実行される設定となっています。管理者ユーザー以外でも同様の操作を行うと、立ち上げ直後にエラーが表示されます。警告エラーを表示させないようにするには、次の設定を行ってください。
1.Administrator 権限のあるユーザーでログオンする。
2. タスクトレー上に表示されている [ワイヤレス LAN 設定ユーティリティー] アイコンをクリックする。
3. メニュー内の [自動実行] をクリックしてチェックを外す。

ヒント

★ TCP/IP など、別途ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定に関してはシステム管理者にお問い合わせ下さい。

★ パソコン同士で通信を行う場合、4. で通信を行うパソコンと同一の ID（任意）を入力します。また、6. で [パソコン間] を選択し同一のチャンネルを指定します。

★ 暗号化キーは、半角英数字（0-9,a-z）5 文字もしくは 13 文字で設定してください。

重要

◎ 同一機種以外の無線 LAN 機器とのピアツーピア接続はできません。必ずアクセスポイントを経由して接続を行ってください。

● アクセスポイントがWEP128ビットを設定している場合

(1) [WEPキー]で[128bit]を選択します。

(2) [キーの形式]でアクセスポイントと同形式を選択します。
(PC-CN3300の場合、[英数字(ASCII)]を使用します。

(3) [使用する暗号キー]を選択します。(PC-CN3300の場合、[キー0]を選択します。)

(4) (3)で指定したキーへアクセスポイントと同じ暗号キーを入力します。

9 [適用]ボタンをクリックします。

ネットワーク切替ユーティリティー

有線LAN、無線LANの各種ネットワーク設定を作成したプロファイルを元に、簡単に切り替えることができるソフトウェアです。

参照

使用方法の詳細は、デスクトップの[電子マニュアル]アイコンをダブルクリックし、「ネットワーク切替ユーティリティー取扱説明書」をご参照ください。

AirH"IN ユーティリティー

AirH"INを使うためのソフトウェアです。詳しい使い方は、電子マニュアル『AirH"IN取扱説明書』をご参照ください。

パスワード解除ユーティリティー

クレードルに接続したパソコン(本機)をUSB-HDDとして使用する場合に、User Passwordを解除するソフトウェアです。

重要

◎ USB-HDDとして使用する場合、USB-HDDのパスワードとして機能するパスワードはUser Passwordのみです。Supervisor PasswordはUSB-HDDのパスワードとして機能しません。したがって、Supervisor Passwordのみ設定されているパソコン(本機)はUSB-HDDとして使用可能です。また、Hard Disk Passwordを設定しているときはUSB-HDDとして使用することはできません。パスワード解除ユーティリティーで解除できるパスワードはUser Passwordのみで、Hard Disk Passwordを解除することはできません。

ユーティリティーの使用方法

1 c:\hitachi\programs\cradleフォルダー内のPassword Utility.exeを、クレードルに接続した他のパソコンへコピーする。

2 Password Utility.exeをダブルクリックし、実行する。

3 [パスワードの入力]へUser Passwordを入力する。

VirusScan

Windows で、コンピュータウイルスを検出するソフトウェアです。
標準ではセットアップされていません。必要に応じてセットアップしてください。
次の機能があります。

・VirusScan　：ウイルスを検出・除去します
・VShield　：メモリーに常駐してウイルス感染ファイルへのアクセスを監視します
・VirusScan コンソール　：VirusScan のスケジュールの設定が行えます

参照
使用方法の詳細は、VirusScan をインストール後、インストールしたフォルダーの Readme.txt やオンラインヘルプをご参照ください。

VirusScan の使い方について

・VirusScan は新ウィルスに対応するため、常にバージョンアップを行っています。そのため、付属の VirusScan が最新でない場合があります。その状態でご使用になると、新ウィルスの検出ができません。新ウィルスを検出するためには、「ウィルスワクチンサービス MC」の契約を行い、最新の VirusScan を入手してください。
詳細は、次のアドレスでご確認ください。
http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/vakzin/mc/vakzin_mc.htm
・VirusScan をインストール中に、[McAfee VirusScan インストールウィザードは正常に完了しました。] 画面が表示されます。その画面で [VirusScan 常駐プログラムを開始] のチェックを外さないでください。「Administrator」以外でログオンした時に、VirusScan が使用できなくなります。
修正するには「Administrator」でログオンし、VShield の [システムスキャンプロパティ] の [スキャン] タブをクリックし、[システムスキャンを有効] をチェックしてください。
・VirusScan のインストール時に、[McAfee VirusScan 設定] の「インストール後にデフォルトのウィルス検査を実行」にチェックを付けると、パソコン起動時に毎回オンデマンドスキャンが起動しウィルス検査を行います。
・VirusScan インストール中の [セキュリティレベルを設定してください] 画面で [標準のセキュリティレベル] を設定しても、[アラートの設定] は管理者権限のあるユーザーでログオンしないと設定できません。
・VirusScan インストール中の [McAfee VirusScan インストールウィザードは正常に完了しました。] 画面で [VirusScan 常駐プログラムを開始] のチェックを外した場合、管理者権限のあるユーザー以外でログオンするとVirusScan が使用できなくなります。この場合「 Administrator 」でログオンして、VShield の [システムスキャンプロパティ] の [スキャン] タブで [システムスキャンを有効] をチェックしてください。
・VShield の [システムスキャンプロパティ] の [スキャン] タブで [圧縮ファイル] にチェックを入れても圧縮ファイルのスキャンを行いません。ただし圧縮、解凍時スキャンを行います。

オンラインサインアップソフト

推奨プロバイダーへのオンラインサインアップソフトです。サインアップソフトは、次のソフトを用意しています。
・AOL for Windows(以下、AOL)
・ODN スターターキット(以下、ODN)
・ドリームネットサインアップソフト(以下、ドリームネット)
・OCN スタートパック(以下、OCN)
・isao.net サインアップ(以下、isao)
・東京電話インターネット接続ナビ(以下、東京電話)
・インターネットするなら BIGLOBE(以下、BIGLOBE)
パソコン付属のカタログやオンラインヘルプを参照してお使いください。
なお、詳しい使い方やプロバイダーに関する情報は、各プロバイダーにお問い合わせください。

BEAMSTAR 用ドライバー

別売の BEAMSTAR を使うためのプリンタードライバーです。
詳しい使い方は c:\hitachi\programs\beamstar フォルダー内の pdf ファイル、txt ファイルを参照ください。

インターネットマーク

インターネットエクスプローラへのプラグインソフトです。閲覧中の Web コンテンツの真正性が確認できます。

Norton Ghost 2002

パソコンの HDD の内容をその他のディスクにバックアップしたり、バックアップした内容を復元するユーティリティーです。
標準ではセットアップされていません。必要に応じてセットアップしてください。

重要

◎ 「Norton Ghost」については、「HITAC カスタマ・アンサ・センタ」までお問い合わせください。Symantec Corporation では、お問い合わせを直接受け付けていません。

◎ 機能によっては、使用できない場合があります。

参照

使用方法の詳細→ c:\hitachi\programs\ghost\readme.txt や c:\hitachi\programs\ghost\Documents\Ghost_guide.pdf をご参照ください。

SLM-TEGAKI 認証お試し版

アプリケーションや Windows のログイン操作をポインティングパッドによる手書きサイン認証に書き換えることで、セキュリティの向上を図るアプリケーションです。詳しい使い方は、c:\hitachi\programs\tegaki\guide.pdf と、readme.txt をご参照ください。

Office XP

購入時の選択によってセットアップされるアプリケーションセットです。
使い方や再セットアップ方法などは、付属のマニュアルをご参照ください。
お客様がパソコンにメモリーやボードの増設などのハードウェア環境に変更を加えた場合、その後のMicrosoft Office XP のアプリケーションソフトウェア(Word、Excel、Outlook など)の初回起動時、「Microsoft Office XP ライセンス認証ウィザード」が表示されることがあります。この状態では各アプリケーションの機能が制限されます。ウィザードのメッセージに従い、Office XPのパッケージに付属の「Microsoft Office XP 」CD-ROM を外付けCD-ROMドライブに挿入して、メッセージに従い操作してください。

重要

◎ 添付のMicrosoft Office XP(以下Office XP)のCDでOffice XP をセットアップし直した場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、Office XP の立ち上げ回数が許諾回数を超えると、新規ファイルの作成更新など一部の機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、Office XP の『セットアップガイド』をご参照ください。

Acrobat Reader

本書のような電子マニュアルなどPDF形式のファイルを参照するためのアプリケーションです。

参照

使い方について→『Windows を使えるようにする』2 章の「電子マニュアルを使う」

CyberSupport for HITACHI

パソコンについて知りたいことを、ヘルプやマニュアルから探し出す、検索ソフトウェアです。

参照

使い方について→『Windows を使えるようにする』2 章の「電子マニュアルを使う」

ソフトウェアの重要事項

ここでは、ソフトウェアを使用するときの重要な項目について説明します。

Windows の使用について

サウンドの使用について

・マルチメディアファイル再生中は、ファイルを転送など、HDD に読み書きしないでください。音が途切れたり、再生中のファイルが止まったりします。一度すべてのファイルを停止してから再生し直してください。また、シークバーが正しく表示されない場合があります。この場合は、マルチメディアファイルを一度終了させてください。
・音を鳴らした状態で音源のボリューム操作を繰り返したり、[ボリュームコントロール] を長時間表示したままにしないでください。パソコンの動作が不安定になることがあります。
・Waveファイル再生中に音声が停止したり、異常な音が鳴り続ける場合は、いったん再生を停止し、そのあと再生し直してください。

インターネット エクスプローラの使用について

・使用するアプリケーションによっては、画面が正常に表示されないことがあります。このときは、いったんアプリケーションを最小化するなどして画面を再描画させてください。
・使用するアプリケーションによっては、アプリケーションエラーが起きることがあります。このときは、いったんアプリケーションを立ち上げ直すか、パソコンを立ち上げ直してください。
・CD-ROM 内の文字列は正しく検索できません。検索するファイルを、いったん HDD にコピーしてから、コピーしたファイルを検索してください。
・デスクトップのアイコン表示：表示モードを変更した場合やコマンドプロンプトをフルスクリーンで表示したあと、デスクトップのアイコンが正しく表示されないことがあります。この場合は、パソコンを立ち上げ直してください。
・NTFS の圧縮 ： 圧縮や圧縮の無効など、圧縮状態を変更するときは、各サブフォルダーごとに行ってください。HDD 全体に対して変更すると、パソコンの動作が不安定になることがあります。ただし、HDD をフォーマットするときは、あらかじめ [圧縮を有効にする] にチェックを付けて圧縮できます。
・[タスクバーのプロパティ] ダイアログの [[スタート] メニューの設定] タブの [削除] をクリックしないでください。Explorer.exe で一般保護違反 (GPF) が発生する場合があります。[スタート] メニューのフォルダーを削除する場合は、[[スタート] メニューの設定] タブの [詳細] をクリックし、立ち上げられるエクスプローラ上で削除してください。

フォント

・全角が表示できるフォントを使用しているときに、スタイルをイタリックにすると、サイズによっては文字化けすることがあります。ほかのスタイルでは発生しません。

アプリケーション

・Windows 3.1 や MS-DOS 5.0/V、MS-DOS 6.2/V のアプリケーションを使用しないでください。マウスが正常に動作しなかったり表示色がおかしくなることがあります。
・アプリケーションを複数動作させる場合は、不要なファイルを HDD から削除するなどして、空容量を十分に確保してください。アプリケーションによっては、スワップファイルを多く表示させるものもあり、HDD の空容量が不足していると、アプリケーションが正常に動作しないことがあります。
・アプリケーションによっては、ヘルプ画面を開こうとすると、エラーメッセージを表示する場合があります。
・Microsoft PowerPoint など、アプリケーションによっては、アイコンの表示が部分的に残る場合があります。
・Microsoft PowerPoint など、アプリケーションによっては、印刷時に文字化けする場合があります。
・Microsoft Excel を使用して、最小印刷の設定を行った状態で「印刷プレビュー」を行うと、STOP メッセージが表示されてパソコンが動作しなくなることがあります。「印刷プレビュー」を行う場合には、データの保存を必ず行ってください。
・Microsoft Office の 一部の機能は正常に動作しません。

プリンター

・LIPS III モードで「コマンドプロンプト」からテキストファイルを印刷すると、全角文字が正常に印刷されません。リモート印刷時も同様です。
・ESC/P モードで「コマンドプロンプト」からテキストファイルを印刷する場合は、プリンターの設定を、次の手順で変更してください。リモート印刷時も同様です。
ただし、設定しても印刷の文字がかすれて見づらい場合があります。
1. [スタート] ボタン－ [設定] － [プリンタ] をクリックする。
2. 対象のプリンターを選んでプロパティーを開く。
3. [詳細設定] タブの「プリントプロセッサ」を選ぶ。
4. [プリントプロセッサ] の次の項目を変更する。

変更項目	デフォルトの設定	変更後の設定
規定のデータの種類	RAW	TEXT

・Microsoft Word で文章を印刷すると、「 Win32 スプーラ」で「書き込みエラー：要求された資源は使用中です」と表示されることがあります。そのときは、「再試行」をクリックすると印刷できます。

クリップブック

・ローカルクリップブックのページを削除すると、クリップボードの内容が削除される場合があります。
・クリップボードの内容をファイルに保存すると、クリップボードの表示色が変化する場合があります。
・クリップボードの内容をクリップブックのページにはり付けたとき、ロックされていないのに鍵のマークが出る場合があります。

画面表示

・タスクの切り替えなどで画面の表示を切り替えると、切り替えるタイミングによって前の表示が残る場合があります。この場合、その箇所を再描画させると、正常に表示されます。
・使用状況によっては、メッセージボックスが、ほかのウインドウの裏面に隠れて見えないことがあります。
・表示色などを変更するときは、アプリケーションを終了してください。アプリケーションの表示がおかしくなることがあります。この場合、画面を切り替えるなどして再描画すると正常に表示されます。
・ディスプレイによっては、正しく表示できないリフレッシュレートがあります。リフレッシュレートを変更する場合は、テスト表示を行い、正しく表示できることをご確認ください。
・メディアプレーヤーなどで動画再生時、動画によっては再生画面が正しく表示されないことがあります。このときは、メディアプレーヤーの[ファイル]－[プロパティ]－[詳細設定]タブで、[Video Renderer]を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。[DirectDraw]タブの[YUV反転]、[RGB反転]、[YUVオーバーレイ]、[RGBオーバーレイ]のチェックを外します。[パフォーマンス]タブの[フルスクリーン再生では、表示モードの変更はできません]のチェックを付けます。立ち上げ直すと、正常に再生できることがあります。
・Word等のアプリケーションによっては、起動直後にスクロールを行うと図形等が正常に表示されない場合があります。その場合には、再描画させてください。
・同時表示でご利用時、OpenGLを使用するスクリーンセーバー（3Dパイプなど）をプレビューするとIME2002のツールバーが点滅表示されます。
・OpenGLを使用するスクリーンセーバー起動中は、スタンバイまたは休止状態がタイマー設定されている場合でも、スタンバイまたは休止状態に移行しません。スタンバイまたは休止状態を使用する際は、OpenGLを使用するスクリーンセーバーを設定しないでください。

外字変換

・Windows 3.1、またはWindows NT 4.0より以前のシステムで作成した外字データを、TrueType外字エディターで参照するとフォントが崩れて表示される場合があります。TrueType外字エディターで修正し、使用してください。

ネットワーク関連

・TELNET: バッファーサイズを変更すると、表示が崩れる場合があります。
・DHCP Client では、次の場合、正常に表示されない場合があります。
(1)DHCP Manager でアドレスのリース期間を無制限にした場合、IPCONFIG による IP アドレス情報が正しく表示されません。
(2)予約クライアントのリース期限情報がサーバー側とクライアント側で異なります。
・NetWare Compatible Client Service:NET USEで接続したNetWareプリンターに対して、VDMよりリダイレクト(>LPT1)すると文字化けすることがあります。
・Windows NT Server 4.0 で TCP/IP プロトコルを使用した場合、TCP/IP の ip fragment ビットが ON になっています。そのとき ip ルーターで WAN 回線上の最大パケットサイズをイーサネットの最大パケットサイズよりも小さく設定すると、Windows NT の TCP/IP パケットが ip ルーターで廃棄されます。
・RAS サーバーとなる装置のドメイン名、またはワークグループ名が漢字など DBCS の場合、接続できません。
・Windows NT が RAS サーバーで Windows 95 が RAS クライアントの場合、RAS サーバーから RAS クライアントへのメッセージは使用できません。
・ネットワークモニターは補助的なもので、ローカルのパソコンの送受信データのみをキャプチャーできます。本格的なネットワーク解析に使用すると、キャプチャーデータの表示中にアプリケーションエラーとなる場合があります。
・NetWare for Hitachi/W および NetWare for Hitachi3050 には接続できません。
・NWLink IPX/SPX サービスの追加時、1 回の立ち上げ直しで NetWare サーバーに接続できない場合があります。その場合、立ち上げ直してください。
・NET USER コマンドの「/Homedirreq」オプションは使用できません。
・ネットワークドライブをログオン時に再接続する設定にしておいても再接続されない場合があります。この場合は再度ログオンし直してください。

イベントビューア

・Windows 立ち上げ時にイベントが発生した場合、発生時間に関わらず、イベントログサービスの「立ち上げイベント情報」が表示される前に、そのイベントが表示されることがあります。

Microsoft IME

・Microsoft IME では、実際の入力モードとツールバーで表示される入力モードが異なる場合があります。

エクスプローラ

・ネットワークコンピューターのフォルダーを表示させた場合、中にフォルダーがなくてもサブフォルダーがあることを示す「+」が表示されることがあります。

ディスクの管理

・パーティションの作成を行ったとき、「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というエラーメッセージが表示されることがあります。この場合、パーティションは作成されていますが、フォーマットが完了しない場合があります。この場合、作成されたパーティションを再度フォーマットしてください。

コンピュータの管理

・[コンピュータの管理] を終了するとき、アプリケーションエラーが発生することがあります。動作に問題はありません。そのままご使用ください。
・[コンピュータの管理] で、[記憶域] ー [リムーバブル記憶域] ー [物理的な場所] の下に、赤い×印が付いたデバイスが表示されることがあります。現在使用中のデバイスでなければ、動作に問題ありません。そのままご使用ください。

リムーバブルディスクを使用する場合

・リムーバブルディスクを NTFS にフォーマットした場合、リムーバブルドライブのイジェクトボタンを押してもディスクを取り出すことができません。Windows が動いている間に取り出すときは、[マイコンピュータ] や [エクスプローラ] を使用します。デバイスにマウスカーソルを置いて、マウスの右ボタンをクリックし、メニューの [取り出し] をクリックします。ただし、この操作は、Administrators グループに登録されていないメンバーは行えません。

その他

・ログオンした直後に、シャットダウン、再立ち上げ、ログオフを行わないでください。パソコンの動作が不安定になることがあります。

動画の再生について

・動画ファイルを再生するアプリケーションによっては、再生を停止しても画面が残ったままになることがあります。このときは、別のウィンドウを最大化するなど画面の切り替えを行ってください。

4章

追加セットアップ

この章では、ドライバーやアプリケーションを、個別にセットアップする方法を説明します。

購入時にセットアップされていないアプリケーションなどは、この章でセットアップします。

ドライバー、アプリケーションの追加について

ドライバーやアプリケーションの追加を行うと、「Windows 2000 Professional CD-ROM」を要求されることがあります。
このようなときは、次の操作を行ってください。

1 [OK] ボタンをクリックする。

▼ [ファイルのコピー] 画面が表示される。

2 [ファイルのコピー元] に、C:\hitachi\i386 と入力する。

3 [OK] ボタンをクリックする。

▼ ドライバーまたは Windows のプログラムインストールが続行される。

重要

◎ メッセージが表示されず、直接 [ファイルのコピー] が表示されることがあります。

ヒント

★ ドライバーのインストール中に「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されることがあります。[はい] ボタンをクリックしてそのままインストールを続けてください。

ドライバーを個別セットアップする

ここでは、次のドライバーを個別にセットアップする方法について説明します。

ドライバー名	一括セットアップ ○：可能 ×：不可	購入時 ○：セットアップ済み ×：セットアップなし
表示ドライバー	○	○
サウンドドライバー	○	○
LAN ドライバー	○	○
タッチパッドドライバー	○	○
無線 LAN ドライバー	○	○
DMA 設定	○	○
AirH" IN ドライバー	○	○

ヒント

★ 表の「一括セットアップ」に○印があるドライバーは、一括インストールでもセットアップできます。

重要

◎ 個別セットアップを行うと、一括セットアップで組み込まれた場合と設定値が異なることがあります。

◎ 無線 LAN を使用する場合は、別途ワイヤレス LAN 設定ユーティリティーをセットアップする必要があります。

表示ドライバー

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [デバイスマネージャ] を開き、[その他のデバイス] の [ビデオ コントローラ（VGA 互換）] をダブルクリックする。

▼ [ビデオ コントローラ（VGA 互換）のプロパティ] 画面が表示される。

3 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] をクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始] 画面が表示される。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ハードウェアデバイスドライバのインストール] 画面が表示される。

5 検索方法を [デバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの特定] 画面が表示される。

6 **[場所を指定] のみ選択し、[次へ] ボタンをクリックする。**

7 **[製造元のファイルのコピー元] に c:\hitachi\drivers\2k\svga と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了] 画面が表示される。

8 **[完了] ボタンをクリックする。**

9 **[Silicon Motion Lynx3DM のプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックする。**

10 **[スタート] ボタンから立ち上げ直す。**

11 **[スタート] ボタンの [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

12 **c:\hitachi\drivers\2k\svga\videocp\setup と入力して、[OK] ボタンをクリックする。**

▼ [ようこそ] 画面が表示される。

13 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [プログラム フォルダの選択] 画面が表示される。

14 **設定を変更しないで、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [セットアップの完了] 画面が表示される。

15 **[完了] ボタンをクリックする。**

16 **[スタート] ボタンから立ち上げ直す。**

17 **[画面のプロパティ] 画面で、画面の色、領域を調節する。**

ヒント

★ 出荷時の設定は次のとおりです。
画面の領域：1024 × 768
画面の色：High Color
（16 ビット）

参照

画面の設定変更方法→ 1 章の「画面の領域、色、フォントの設定」(P.10)

ヒント

★ 出荷時は、画面のストレッチ設定は ON になっています。

参照

ストレッチ設定の変更方法
→ 3 章の「[画面のプロパティ] または [Lynx3DM+] タブ」(P.36)

サウンドドライバー

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [デバイスマネージャ] を開き、[その他のデバイス] の [マルチメディアオーディオコントローラ] をダブルクリックする。

▼ [マルチメディアオーディオコントローラのプロパティ] 画面が表示される。

3 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始] 画面が表示される。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ハードウェアデバイスドライバのインストール] 画面が表示される。

5 [デバイスに最適なドライバを検索する] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの特定] 画面が表示される。

6 [場所を指定] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザード] 画面が表示される。

7 c:\hitachi\drivers\2k\sound\wdmと入力し、[OK]ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの検索] 画面が表示される。

8 [次のデバイスのドライバが検出されました] と表示されたら、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ ファイルがコピーされ、「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示される。

9 [完了] ボタンをクリックする。

10 [Realtek AC'97 Audio のプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックする。

LAN ドライバー

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [デバイスマネージャ] を開き、[ネットワークアダプタ] の [Realtek RTL8139(A)-based PCI Fast Ethernet Adapter] をダブルクリックする。

▼ [Realtek RTL8139(A)-based PCI Fast Ethernet Adapter のプロパティ] 画面が表示される。

3 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始] 画面が表示される。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ハードウェアデバイスドライバのインストール] 画面が表示される。

5 [デバイスに最適なドライバを検索する] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの特定] 画面が表示される。

6 [場所を指定] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザード] 画面が表示される。

7 c:\hitachi\drivers\2k\lan と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ [ドライバファイルの検索] 画面が表示される。

8 「次のデバイスのドライバが検出されました」と表示されたら、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ ファイルがコピーされ、「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」と表示される。

9 [完了] ボタンをクリックする。

10 [Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC のプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックする。

ヒント

★ LAN の回線速度および全二重 / 半二重設定は、標準で「Auto Mode」に設定されています。HUB との接続が正常にできない場合は、HUB と同じ条件に固定するよう設定してください。[コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] を開き、[ローカルエリア接続] を右クリックし [プロパティ] を選択する。開いた [プロパティ] の [構成] ボタンをクリックし、[詳細設定] タブの [Link Speed /Duplex Mode] の値で変更できます。

★ デバイスマネージャは次の方法で開きます。
[マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] を選択する。開いた [システムのプロパティ] 画面の [ハードウェア] タブをクリックして、[デバイスマネージャ] ボタンをダブルクリックする。

タッチパッドドライバー

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 c:\hitachi\drivers\2k\touchpad\setup と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ [設定言語の選択] 画面が表示される。

4 [日本語] を選択し [OK] ボタンをクリックする。

▼ [ようこそ] 画面が表示される。

5 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [重要なお知らせ] 画面が表示される。

6 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [ファイルコピーの開始] 画面が表示される。

7 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ インストールが開始される。

8 インストール終了後、[セットアップ完了] 画面が表示されるので、[はい、直ちにコンピュータを再起動します] にチェックをして、[完了] ボタンをクリックする。

▼ パソコンが立ち上げ直される。

無線 LAN ドライバー

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [デバイスマネージャ] を開き、[その他のデバイス] の [ネットワークコントローラ] をダブルクリックする。

▼ [ネットワークコントローラのプロパティ] 画面が表示される。

3 [ドライバ] タブの [ドライバの更新] をクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始] 画面が表示される。

4 [次へ] ボタンをクリックする。

5 [デバイスに最適なドライバを検索する] を選択して、[次へ] ボタンをクリックする。

6 [場所を指定] のみにチェックをして、[次へ] ボタンをクリックする。

7 [製造元のファイルのコピー元] に c:\hitachi\drivers\2k\wlan\win2k と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

8 c:\hitachi\drivers\2k\wlan\win2k\netwlan.inf が検出されたら、[次へ] ボタンをクリックする。

▼ [デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了] 画面が表示される。

9 [完了] ボタンをクリックする。

重要

◎ ワイヤレス LAN 設定ユーティリティーインストール後、無線 LAN ドライバーをアップデートする場合は、[コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] より [HITACHI Wireless LAN] を削除してください。削除したあと、パソコンを立ち上げ直すよう指示があるので、立ち上げ直してください。
立ち上げ直したあと、ワイヤレス LAN 設定ユーティリティーをインストールすると、同時に無線 LAN ドライバーもインストールされます。
また立ち上げ直し直後に無線 LAN ドライバーが検出され、「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されることがあります。この場合は [いいえ] ボタンと [完了] ボタンをクリックし、インストールを停止させてください。

DMA 設定

IDE デバイス装置に対し、転送モード (DMA または PIO) を指定します。
DMA モードを選択すると、データの読み書きを速くします。
パソコン出荷時は、DMA モードに設定されています。
転送モードを変更する場合は、次の手順で行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [スタート]ボタン－[設定]－[コントロールパネル]をクリックする。

3 [システム]アイコンをダブルクリックし、[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする。

▼[デバイスマネージャ]画面が表示される。

4 [IDE ATA/ATAPI コントローラ]をダブルクリックする。

▼[プライマリ IDE チャネル]、[セカンダリ IDE チャネル]が表示される。

5 [プライマリ IDE チャネル]画面をダブルクリックする。

▼[プライマリ IDE チャネルのプロパティ]画面が表示される。

6 [詳細設定]タブをクリックし、[転送モード]を[DMA(利用可能な場合)]に設定して、[OK]ボタンをクリックする。

PIO モードにする場合は、[転送モード]を[PIO のみ]に設定する。

アプリケーションを個別セットアップする

ここでは、次のアプリケーションなどを個別にセットアップする方法について説明します。

アプリケーション名	一括セットアップ	購入時
	○：可能×：不可	○：セットアップ済み ×：セットアップ無し
ワイヤレス LAN 設定ユーティリティー	×	×
VirusScan	×	×
ネットワーク切替ユーティリティー	○	○
インターネットマーク	○	○
Norton Ghost 2002	×	×
SLM-TEGAKI 認証お試し版	×	×
AirH" IN ユーティリティー	○	○
パスワード解除ユーティリティー	×	×
Microsoft®Office XP (以下、Office XP) *	×	○
Acrobat Reader	○	○
CyberSupport for Hitachi	○	○

＊ 購入時の選択によって、セットアップまたは付属しています。これらのセットアップ方法は、アプリケーションに付属のマニュアルをご参照ください。

ヒント

★ 表の「一括セットアップ」に○印があるアプリケーションは、一括インストールでもセットアップできます。

★ 表の「購入時」に○印のあるアプリケーションは、購入時にセットアップされています。

重 要

◎ アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数 10 秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

◎ 添付の Microsoft Office XP (以下Office XP)のCDでOffice XP をセットアップし直した場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、Office XP の立ち上げ回数が許諾回数を超えると、新規ファイルの作成更新など一部の機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、Office XP の『セットアップガイド』をご参照ください。

ワイヤレス LAN 設定ユーティリティー

1 パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。

2 [スタート] ボタン－[ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] が表示される。

3 c:\hitachi\drivers\2k\wlan\setup と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ [HITACHI Wireless LAN 用の InstallShield ウィザードへようこそ] 画面が表示される。

4 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [使用許諾契約] 画面が表示される。

5 **[はい] ボタンをクリックする。**

▼ [インストール先の選択] 画面が表示される。

6 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [InstallShield ウィザードの完了] 画面が表示される。

7 **[完了] ボタンをクリックする。**

▼ 再び、[InstallShield ウィザードの完了] 画面が表示される。

8 **[いいえ、あとでコンピュータを再起動をします] を選択して、[完了] ボタンをクリックする。**

重 要

◎ インストール中に [読取専用ファイルを検出] ウィンドウが表示されることがあります。その場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

ネットワーク切替ユーティリティー

1 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 **c:\hitachi\programs\netchg\setup と入力して [Enter] キーを押す。**

3 **以降、画面の指示に従ってインストールを続ける。**

VirusScan

1 **パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンする。**

2 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

3 **c:\hitachi\programs\vscan\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。**

▼ [製品情報] 画面が表示される。

4 **[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [ソフトウェアの使用権許諾契約書] 画面が表示される。

5 **[ライセンス契約に同意します。] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [インストールの種類セキュリティレベルを設定してください] 画面が表示される。

6 **[標準のセキュリティレベル] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [インストールの種類] 画面が表示される。

7 **[標準インストール] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [プログラムのインストール準備完了] 画面が表示される。

8 **[インストール] ボタンをクリックする。**

▼ [インストール中] 画面が表示されたあと、[McAfee VirusScan] 画面が表示される。

9 **「インストール後にデフォルトのウイルス検査の実行」のチェックを外し、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ オンデマンドスキャンが実行され、[ウイルス定義ファイルのアップデート] 画面が表示される。

10 **[後でアップデート] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする。**

▼ [McAfee VirusScan インストールウィザードは正常に完了しました。] 画面が表示される。

11 **[[完了] ボタンをクリックする。**

▼ インストールが終了する。

インターネットマーク

1 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 c:\hitachi\programs\internetmarks\npime011 と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ [ようこそ] 画面が表示される。

3 画面の指示に従ってインストールする。

Norton Ghost 2002

1 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 c:\hitachi\programs\ghost\install\setup と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

▼ [Norton Ghost2002 用の InstallShield ウィザードへようこそ] が表示される。

3 [次へ] ボタンをクリックする。

▼ [使用許諾契約] が表示される。

4 画面の指示に従ってインストールします。
インストール終了後、[Norton Ghost 2002 の登録をお願いいたします] が表示されますが、[スキップ] ボタンをクリックして 登録処理をスキップしてください。

参照

Norton Ghost 2002 の機能について→ c:\hitachi\programs\ghost\Readme.txt や c:\hitachi\programs\ghost\Documents\Ghost_guide.pdf

Acrobat Reader

1 **[スタート] ボタン－[ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 **c:\hitachi\manual\install\ar505jpn と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

▼ [Adobe Acrobat 5.0.5 セットアップ] 画面が表示される。

3 **画面の指示に従ってインストールする。**

▼ 終了すると [情報] 画面が表示される。

4 **[OK] ボタンをクリックする。**

CyberSupport for HITACHI

1 **[スタート] ボタン－[ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

▼ [ファイル名を指定して実行] 画面が表示される。

2 **c:\hitachi\manual\install\cybersupport\setup と入力し、[OK] ボタンをクリックする。**

3 **「CyberSupport for HITACHI のセットアップを開始します。よろしいですか？」とメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックする。**

▼ CyberSupport がインストールされ、データベースが作成される。

4 **「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して [完了] ボタンをクリックする。**

▼ パソコンが立ち上げ直される。

Windowsファイルを追加セットアップする

Windows 固有のソフトウェアは次の手順でセットアップできます。
必要に応じてセットアップしてください。

1 [スタート]ボタン－[設定]－[コントロール パネル]をクリックする。

2 [コントロール パネル] の [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックし、プロパティーを開く。

3 [Windows コンポーネントの追加と削除] タブの [コンポーネント] で、必要なソフトウェアにチェックを付ける。

4 1 つの項目に複数のソフトウェアが含まれている場合があります。全部をセットアップしない場合は [詳細] ボタンをクリックし、必要のないソフトウェアのチェックを消して [OK] ボタンをクリックする。

5 [次へ] ボタンをクリックする。追加するファイルによっては、立ち上げ直すメッセージが表示される。その場合は、立ち上げ直すとセットアップが終了する。

5 章

パソコン Q&A

この章では、パソコンのトラブルと、その対処方法を紹介しています。

トラブルが起こったら、まずここをお読みください。

ディスプレイの表示がおかしい

Q

表示色がおかしい、色数が少ない

A

- プリンター、パソコンの順に電源を入れると、ディスプレイの表示色がおかしくなることがあります。そのときは両方の電源を切り、パソコン、プリンターの順に電源を入れ直します。
- 画面の表示色を正しく設定します。[コントロール パネル] の [画面] アイコンをダブルクリックしてプロパティーを開き、[設定] タブで、画面の表示色を調整します。ディスプレイを接続し、電源を入れたあと、画面の領域、色を設定し直してください。

参照

設定の方法について→ 1 章の「ポインティングパッドを調整する」(P.6)

Q

表示がちらついたり色がずれたりする

A

- テレビなど、近くに強い磁気を発生するものがあります。ディスプレイから離してご使用ください。
- ケーブルを正しく接続し直します。
- 明るさなどを正しく設定します。
- 画面のプロパティーの省電力機能が ON になっていると、バッテリー駆動時に、表示する色やパターンによってちらつくことがあります。省電力機能を OFF にします。

Q

ディスプレイが熱くなる

A

ディスプレイの周囲に置いてある物を取り除きます。ディスプレイの放熱を妨げる物は、周囲に置かないようにしてください。

Q

おかしな文字が表示される

A

- Windows やアプリケーションを正しくインストールします。各ソフトに付属のマニュアルやヘルプを参照して、設定や制限事項などを確認します。
- 文字が英文フォントに設定されている場合、おかしな文字を選択し、日本語のフォントに変更します。
- [コマンドプロンプト] 画面の場合、表示が日本語モード、英語モードのどちらに設定されているか確認します。

Q

タスクバーが表示されない

A

- 画面の端に隠れるほど、タスクバーの幅を細くしています。画面の下端などにマウスを動かし、マウスポインターが矢印に変わったら、そのままドラッグしてタスクバーの幅を広げます。

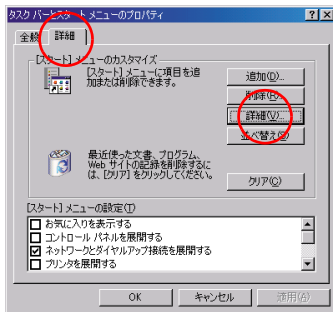
・タスクバーの設定を変えています。[スタート] ボタン－ [設定] － [タスクバーと [スタート] メニュー] をクリックしてプロパティーを開き、[全般] タブの [自動的に隠す] のチェックを消してください。

Q

アプリケーションが [スタート] メニューにない

A

アプリケーションを [スタート] メニューに登録します。

1 エクスプローラで、アプリケーションのプログラムファイルを右クリックし、[ショートカットの作成] を選択する。
2 作成されたショートカットを右クリックし、[切り取り] を選択する。
3 [スタート] ボタン－ [設定] － [タスクバーと [スタート] メニュー] を選択する。
4 [詳細] タブをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする。

5 [プログラム] を選択し、[編集] － [貼り付け] を選択する。

Q

[スタート] メニューがいっぱいになって、選択しにくい

A

[スタート] メニューを整理します。

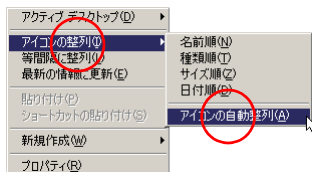
1 [スタート] ボタン－ [プログラム] を選択し、移動するメニューをポイントし、メニューを移動する位置までドラッグ & ドロップする。

Q

デスクトップがアイコンで乱雑になった

A

アイコンを自動整列します。

1 デスクトップでアイコンのないところを右クリックし、[アイコンの整列] － [アイコンの自動整列] を選択する。

・アプリケーションのショートカットをタスクバーから立ち上げられるようにします。

1 タスクバーの [クイック起動] ツールバーの右をポイントし、右にドラッグする。

2 アプリケーションのショートカットを、[クイック起動] ツールバーにドラッグ & ドロップする。ここをクリックすると、アプリケーションを立ち上げられる。

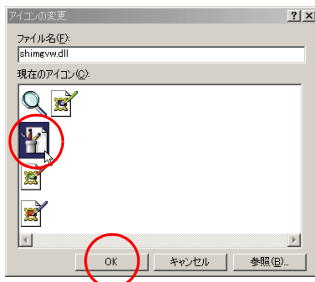
・不要なアイコンを削除します。
1 削除するアイコンを右クリックし、[削除] を選択し、[はい] ボタンをクリックする。

Q

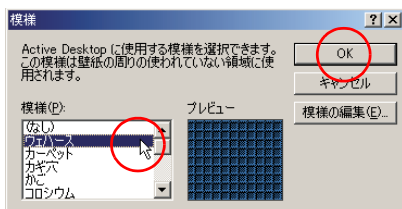
アイコンの絵柄が変わってしまった

A

・フォルダーオプションでアイコンの絵柄を変更します。
1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、[ツール] ─ [フォルダオプション] を選択する。
2 [ファイルの種類] タブをクリックし、アイコンの絵柄を変更するファイルタイプを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックする。
3 [アイコンの変更] ボタンをクリックし、アイコンを選択し、[OK] ボタンをクリックする。

Q

デスクトップの背景が気に入らない

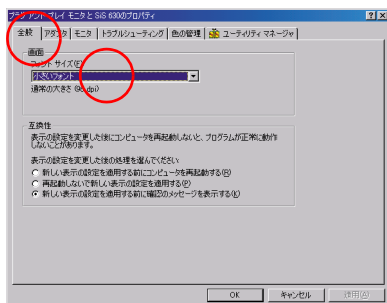
A

デスクトップの背景を変えます。
1 自分で描いた画像や写真などを使う場合は、bmp 形式にして、C:\ Windows にコピーしておく。
2 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ] を選択する。[画面のプロパティ] が表示される。
3 [背景] タブをクリックする。
4 画像ファイルを背景にするときは、[参照] ボタンをクリックし、画像ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックする。模様を選択するときは、[模様] ボタンをクリックし、模様を選択し、[OK] ボタンをクリックする。

5 [OK] ボタンをクリックする。

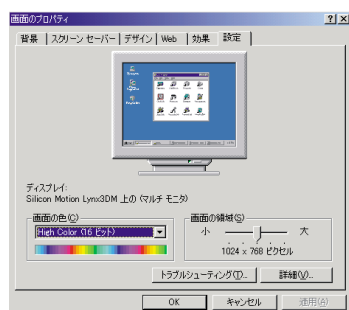
画面の文字が小さい

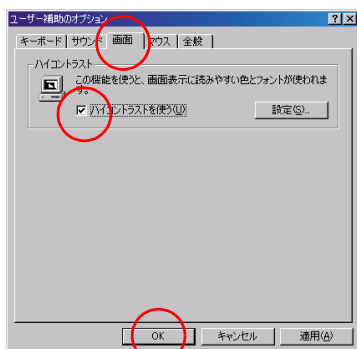
A

・画面に表示するフォントサイズを大きくします。

1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [設定] タブをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする。[全般] タブをクリックし、[フォントサイズ] で [大きいフォント] を選択する。

3 [OK] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックする。
4 立ち上げ直しのメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

・画面の解像度をさげます。

1 デスクトップのアイコンのないところを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [設定] タブをクリックし、[画面の領域] で「小」に変更する。

・画面のコントラストを強くします。

1 [スタート] ボタン－[設定] －[コントロールパネル] を選択し、[ユーザー補助のオプション] アイコンをダブルクリックする。
2 [画面] タブをクリックし、[ハイコントラストを使う] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする。

Q

動画の再生が終わっても、画像が残ったままになる

A

再生するアプリケーションによっては、再生を停止しても画面が残ったままになることがあります。このときは、別のウィンドウを最大化するなど画面の切り替えを行います。なお、動画ファイルを再生しているときは、コマンドプロンプトを起動してから Windows 側に切り替えたり、コマンドプロンプトのウィンドウを最大化してから終了しないでください。これらの操作を行うと、パソコンの動作が異常になることがあります。

マウスの動きがおかしい

Q

マウスがなめらかに動かない

A

マウス内部のローラーに異物が入っているか、マウスのボールが汚れています。汚れていた場合はボールを取り出し、中性洗剤を薄めた水で洗います。

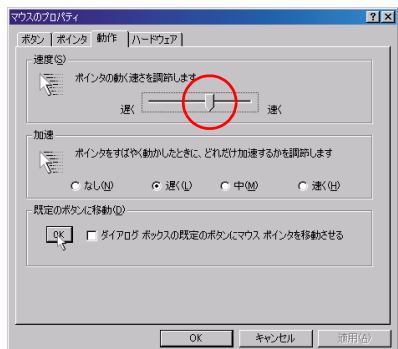
参照
マウスのボールのお手入れについて
→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』3 章の「お手入れ」

Q

マウスカーソルの動きが遅い

A

マウスカーソルの速度を速くします。

1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] を選択する。
2 [マウス] アイコンをダブルクリックする。
3 [動作] タブをクリックし、[速度] でマウスカーソルの動きを速くする。

Q

マウスカーソルが小さい

A

マウスカーソルのサイズを大きくします。

1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] を選択する。
2 [マウス] アイコンをダブルクリックする。
3 [ポインタ] タブをクリックする。
4 Windows スタンダード (大きいフォント) などを選択する。
5 [OK] ボタンをクリックする。

音が聞こえない

Q

スピーカーから音が出ない

A

・スピーカーに電力を供給します。パソコンと別に電源が必要なタイプのスピーカーの場合、電源に接続しているか、スピーカーの電源が入っているかを確認します。

・スピーカーの音量が低くなっています。ボリュームコントロールで音量を調整します。

・再生しようとする音声ファイルの録音レベルが低くなっています。適切な録音レベルに調整して録音します。

・サウンドドライバーを正常に動作させます。
1 [コントロールパネル] の [システム] アイコンをダブルクリックする。
2 [システムのプロパティ] の [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。
3 リストの [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ] のドライバーに「！」マークが付いていないか確認する。「！」が付いていた場合は、ドライバーを再セットアップする。

参照
音量の調整について→ 1 章の「音量を調整する」(P.12)

参照
サウンドドライバーの再セットアップについて→ 3 章の「サウンドドライバー」(P.36)

Q

タスクバーにスピーカーのアイコンが表示されない

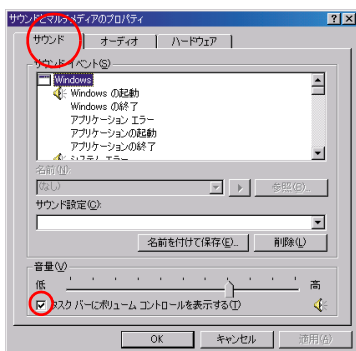
A

スピーカーのアイコンをタスクバーに表示する設定にします。

1 [コントロール パネル] の [サウンドとマルチメディア] アイコンをダブルクリックする。
2 [サウンド] タブをクリックする。[タスクバーにボリュームコントロールを表示する] に、チェックが付いているか確認する。チェックが付いている場合は、Windows を立ち上げ直す。

Q

音声が途切れたり、繰り返したりする

A

・ディスクに読み書きしています。ディスクに読み書きしている状態で、再生時間の長い音を再生すると、音が途切れたり、繰り返したりする場合がありますが問題はありません。Windows の立ち上げ音が途切れる場合は、次の操作を行ってください。

・［ コントロールパネル ］の［ サウンドとマルチメディア ］の［ サウンド ］タブで、再生時間の短い音を設定するか、サウンド名を「なし」に設定します。

プリンターで印刷できない

Q

プリンターが使えない

A

・プリンターの電源を入れます。

・パソコンとプリンターの電源を切り、プリンターの電源を入れたあとで、パソコンの電源を入れます。

・プリンターに異物や用紙が詰まっています。プリンターの表示ランプを確認します。

・プリンターケーブルを正しく接続します。

・プリンターケーブルが絡んでいます。信号妨害のないように、ケーブルどうしはできるだけ離しておきます。

・プリンターをパソコンに接続したあと、［ プリンタ ］ウィンドウの［ プリンタの追加 ］でプリンターを使用できるようにします。

・複数のプリンターを使用しています。使用するプリンターのアイコンを右クリックして、［ 通常使うプリンタに設定 ］にチェックが付いているか確認します。

参照

プリンターの接続について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』2章の「プリンターを接続する」

Q

正しくプリントできない

A

・正しいプリンターを選びます。アプリケーションの［ ファイル ］ー［ 印刷 ］ダイアログボックスなどで、正しいプリンターが選ばれているか確認します。

・プリンターをテストして、正しく印字できるか確認します。
［ コントロールパネル ］ー［ プリンタ ］ウィンドウで、目的のプリンターのプロパティーを開きます。［ 全般 ］タブの［ テストページの印刷 ］ボタンをクリックし、テストしてその結果から原因を推測して対処します。

Q

途中までしか印刷しない

A

・用紙がなくなっていないかを確認します。

CD-ROM ドライブの異常

Q

CD-ROM を読み込めない

A

・その CD-ROM の規格を確認します。Macintosh 用の CD-ROM は読み込めません。

・このパソコンに付属の CD-ROM をセットし、読み込んでみてください。読み込めない場合は、ドライブ内部のピックアップレンズが汚れているかもしれません。クリーニングしてください。

・ほかのパソコンで作成した CD-R や CD-RW は、読み込めない場合があります。

参照
クリーニング方法について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』3章の「お手入れ」

Q

CD-ROM ディスクをドライブに入れると「Not Ready」など準備ができていないことを示すエラーメッセージが表示される

A

・ドライブの準備ができていないときに表示されることがあります。CD-ROM アクセスランプが消えるまでそのまま待ちます。

FD の異常

Q

FD にデータが書き込めない

A

・ディスクのライトプロテクトノッチが、「書き込み禁止」側に入っています。「書き込み可能」側に倒します。

・ディスクの容量がいっぱいになっています。[マイ コンピュータ] の [3.5 インチ FD] のプロパティーを開き、ディスクの容量がいっぱいになっていないか確認します。

参照
書き込み禁止について→『パソコンを準備する』2章の「ディスクを使おう」「書き込みを禁止する」

Q

FD からデータが読み込めない

A

・このパソコンで読み込めない種類の FD です。読み込めるのは、720KB／1.25MB／1.44MB の FD です。

・Macintosh でフォーマットされた FD です。

・弊社のパソコン以外でフォーマットしたFDだと、読み込めないことがあります。

・FD がフォーマットされていません。新しい FD には、そのままでは使用できないものもあります。

Q

FD が認識されない

A

・FD を FDD に正しくセットします。FDD の中に引っかかっている場合は、FD を軽く押します。

・別の FD を読み込んでみて、正しく読み込める場合は、その FD が壊れています。FD は直射日光や磁気を発するもの、高温を避け、湿気・水にさらされないように保管します。

アクセスランプの異常

Q

FDD ランプが点灯したままになっている

A

・FDが壊れていませんか？　別のFDをドライブにセットし、[マイ コンピュータ] の [3.5 インチ FD] アイコンをダブルクリックして FD を読み直してみてください。

Q

HDD ランプが点灯したままになっている

A

・HDD が壊れていませんか？ [エラーチェック] を実行して HDD にエラーがないかチェックしてください。[エラーチェック] は、[マイコンピュータ] で HDD アイコンを右クリックし、[プロパティ] で [ツール] タブを選択すると表示されます。

HDD のトラブル

Q

HDD の空き容量が少なくなった

A

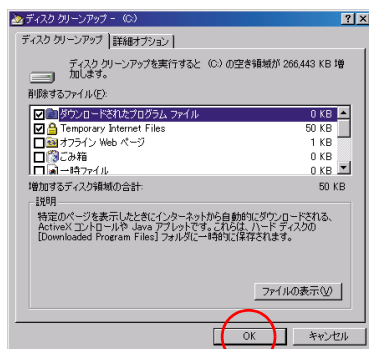
・ディスククリーンアップを実行してインターネット一時ファイルなどを削除します。

1 [スタート] ボタンー [プログラム] ー [アクセサリ] ー [システムツール] ー [ディスククリーンアップ] を選択する。[ドライブの選択] が表示される。

2 ディスククリーンアップするドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックする。

3 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン / オフし、[OK] ボタンをクリックする。

4 確認のメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

A

・不要なファイルを削除します。

・不要なアプリケーションを削除します。

・HDD を増設し、ファイルを移動します。

・MO ドライブ装置などのファイル装置を増設し、ファイルを移動します。

Q

1台の HDD に、複数のドライブを作りたい

A

再セットアップの際に複数の領域（パーティション）を作成し、フォーマットすると、複数のドライブができます。

参照
複数の領域の作成について→『Windows を使えるようにする』3 章の「一括セットアップする」

Q

パームレストが熱い

A

HDD への連続アクセスを長時間行うと、左パームレストが熱くなる場合があります。アクセス終了後、しばらく放置してください。

その他の周辺機器のトラブル

Q

取り付けたあと、周辺機器が使えない

A

・いったん周辺機器を取り外し、正しく取り付けます。

・パソコンと周辺機器の電源を切り、周辺機器の電源を入れたあとでパソコンの電源を入れます。

・ケーブルなどを正しく接続します。

・周辺機器の取扱説明書をご参照ください。

参照
周辺機器の接続について→電子マニュアル『ハードウェアを使いこなす』の 2 章「周辺機器を接続する」

Q

無線 LAN で通信できない

A

・「ワイヤレス LAN 設定ユーティリティー」をインストールしていますか？インストールしていないときは、インストールしてください。

・暗号（wep）は正しく設定していますか？アクセスポイントの暗号設定に合わせて設定してください。

参照
インストールについて→ 3 章の「ワイヤレス LAN 設定ユーティリティー」(P.37)

Q

LAN で通信できない

A

・接続する HUB と通信モード（速度や全二重 / 半二重の設定）を合わせます。接続する HUB にオートネゴシエーション機能がない場合は、10BASE-T/100BASE-TX などの設定を正しく合わせます。

・接続している HUB の電源を入れます。

・サーバーが起動していることを確認します。

・ケーブルなどを正しく接続します。

・100BASE-TX で使用しているときは、100BASE-TX 用のケーブルをご使用ください。

・LAN ドライバーがインストールされているかご確認ください。

・ネットワークで使用するプロトコルが組み込まれているかご確認ください。

・NetWare サーバーとの接続に失敗する場合は、パソコンで IPX/SPX 互換プロトコルのフレームタイプを NetWare サーバーで使用しているフレームタイプに合わせてください。標準では「auto」です。

Q

10BASE5/10BASE-T を組み合わせたネットワークで通信できない、または遅い

A

ネットワークのトランシーバーや HUB の設定が正しくありません。10BASE5 のイエローケーブルと 10BASE-T の HUB を接続するトランシーバーの SQE スイッチが OFF に設定されているかご確認ください。その場合、トランシーバーケーブルにパソコンを直接接続しているならば、トランシーバーの SQE スイッチは ON に設定してください。
ただし、SQE スイッチを ON に設定すると、複数のメーカーのパソコンが 10BASE-T を使用している場合、LAN 機能の特性の違いで通信できないパソコンがあります。また、HUB の多段接続を行った場合、1 段目と 2 段目で通信状態が変わることがあります。

Q

データの送受信が遅くなる

A

・HUB のコリジョンランプが点灯していませんか？
　よく点灯する場合は、スイッチング HUB をご使用ください。

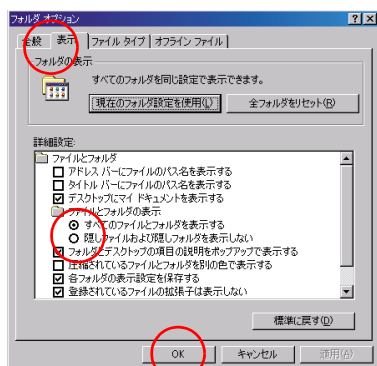
・Windows のコマンドプロンプトで、ファイルを転送していませんか？
　コマンドプロンプトで、ファイル転送などを長時間行っていると、データの送受信が遅くなることがあります。

ファイルがうまく管理できない

Q

エクスプローラで探しているファイルが見つからない

A

・隠しファイルに設定されています。隠しファイルを見えるようにフォルダーオプションの設定を変更します。
　1 [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、[ツール] ー [フォルダオプション] を選択する。
　2 [表示] タブをクリックし、[詳細設定] の [ファイルとフォルダの表示] を開き、[すべてのファイルとフォルダを表示する] を選択する。

　3 [OK] ボタンをクリックする。

・正しいフォルダーを選択します。

・どのフォルダーに保存したか不明のときは、ファイルを検索します。
1 [スタート] ボタン－ [検索] － [ファイルやフォルダ] を選択する。
2 [検索オプション>>]をクリックし、[日付]チェックボックスをオンにする。
3 [日付指定] を選択し、ファイルを作成した日付の範囲を指定する。ファイル名やファイルの種類がわかれば、検索条件に追加して [検索開始] ボタンをクリックする。
4 検索されたファイルのフォルダーを確認する。

・新規文書を保存すると、文書を作成したアプリケーションのフォルダーに入ることがあるので、このフォルダーを確認します。

Q
CD-ROM からコピーしたファイルを上書きできない
A
ファイル属性の読み取り専用を解除します。
1 エクスプローラでファイルを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [読み取り専用] のチェックを外す。
3 [適用] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリックする。
4 エクスプローラのウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックして、エクスプローラを終了する。

インターネット使用中のトラブル

Q
インターネットに接続できない
A
・外付けのモデムを使用しているときは、モデムの電源が入っているかを確認します。

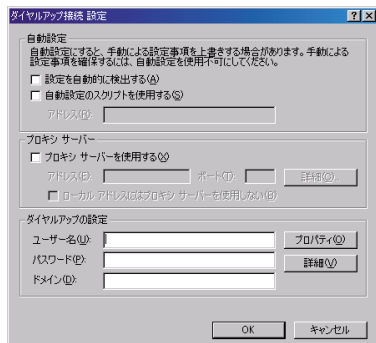
・接続が混んでいる時間帯では、すぐに接続できないことがあります。しばらくしてからもう一度接続します。

・接続先のサーバーが停止していないかを確認します。

・接続先の電話番号が変わっていないか確認します。

・設定してある接続先の電話番号を確認します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール パネル] を選択し、[ネットワークとダイヤルアップの接続] アイコンをダブルクリックする。
2 使用している接続先のアイコンを選択し、[ファイル] － [プロパティ] を選択する。
3 [全般] タブをクリックし、市外局番と電話番号を確認する。

・ユーザー ID やパスワードを確認します。
1 [スタート] ボタンをクリックし、[インターネット] アイコンを右クリックして「インターネットのプロパティ」を選択する。
2 [接続] タブをクリックし、[ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定] で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリックする。

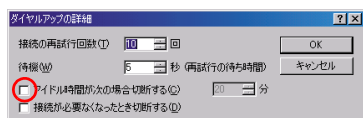
3 ユーザー名を確認し、正しいパスワードを入力する。パスワードを入力するときは小文字、大文字を確認する。

・モデムの設定が正しいかを確認します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロールパネル] をクリックする。
2 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックする。
3 [ダイヤル情報] タブの [編集] ボタンをクリックし、国／地域、市外局番、ダイヤル方法を確認する。
4 [OK] ボタンをクリックし、[モデム] タブをクリックし、使用しているモデムが選択されているかを確認する。
5 [プロパティ] ボタンをクリックし、[プロパティ] の [詳細] タブをクリックする。
6 [既定の設定を変更] ボタンをクリックし、[詳細] タブをクリックしてハードウェアの設定を確認する。

・ネームサーバーや IP アドレスなどの TCP/IP の設定を確認します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール パネル] を選択する。
2 [ネットワークとダイヤルアップ] アイコンをダブルクリックする。
3 使用している接続先のアイコンを選択し、[ファイル] － [プロパティ] を選択する。
4 [ネットワーク] タブの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする。
5 IP アドレス設定、ネームサーバーを確認する。

Q

接続中に突然回線が切れる

A

データを送受信していない状態が一定の時間以上続くと、自動的に回線が切れます。通信していない時間を長くするときは、次のようにします。
1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
2 [接続] タブをクリックし、[ダイヤルアップの設定] で使用するダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリックする。
3「ダイヤルアップの設定」の [詳細] ボタンをクリックする。
4 [アイドル時間が次の場合、切断する] にチェックが入っていることを確認し、アイドル時間を長くする。

・キャッチホンがかかると、通信が切れます。キャッチホンに切り替えると解消します。

・接続先のサーバーがダウンしました。

・Outlook Express の使用時では、[送受信が終了したら切断する] をチェックしていると、メールの送受信後自動的に回線が切れます。

・回線にノイズが発生しました。

・システムスタンバイをオフにします。

Q

接続中にパソコンの電源を切ってしまった

A

電話回線は強制的に切断されます。ダウンロード中のファイルがある場合は、正常に保存されないことがあります。

Q

ホームページが開かない

A

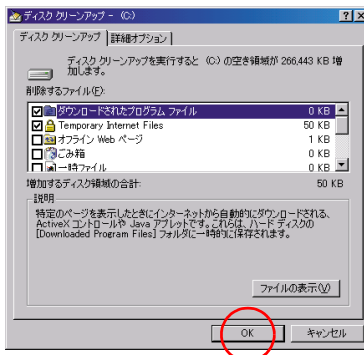
・URL の入力が正しいか確認します。

・指定した URL のホームページがなくなっています。

・HDD の空き容量が不足しています。ディスククリーンアップの実行、不要なデータの削除などで HDD の空き容量を増やします。

1 [スタート] ボタン－ [プログラム] － [アクセサリ] － [システムツール] － [ディスククリーンアップ] を選択する。[ドライブの選択] 画面が表示される。

2 ディスククリーンアップするドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックする。

3 [ディスククリーンアップ] タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン / オフし、[OK] ボタンをクリックする。

4 確認のメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

・指定した URL のホームページは、インターネットエクスプローラで設定したセキュリティーのレベルの範囲外です。次の手順を行って、セキュリティーレベルを調整します。

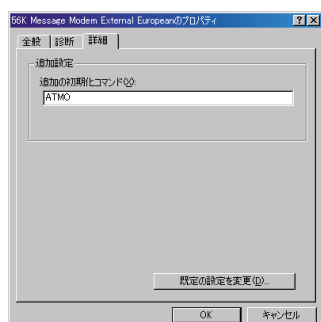
1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[Web コンテンツのゾーンを選択してセキュリティのレベルを設定する] で、[インターネット] が選択されていることを確認する。

3 [このゾーンのセキュリティのレベル] に表示されているつまみをドラッグしてレベルを下げる。つまみが表示されていないときは、[既定のレベル] ボタンをクリックしてつまみを表示する。

4「セキュリティのレベルを変更しますか？」という警告が表示される。[はい] ボタンをクリックする。

5 [適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする。

・モデムの発信音を消します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール パネル] を選択する。
2 [電話とモデムのオプション] または、[モデム] アイコンをダブルクリックし、[モデム] タブで使用するモデムが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックする。
3 [詳細] タブをクリックする。

4 [追加設定] 領域に、ATMO と入力し、[OK] をクリックする。
5 [OK]、[閉じる] の順にクリックして終了する。

ヒント

★ 再び音を出す場合は、手順 4 で入力した「ATMO」を削除してください。

Q

転送スピードが遅い

A

・回線が混んでいます。時間帯によっては、転送スピードが遅くなる場合があります。しばらく時間をあけてからご使用ください。

・モデムの設定が間違っています。正しいモデムを選択します。
1 [スタート] ボタン－ [設定] － [コントロール パネル] を選択する。
2 [電話とモデムのオプション] アイコンをダブルクリックし、[モデム] タブで使用するモデムを選択する。

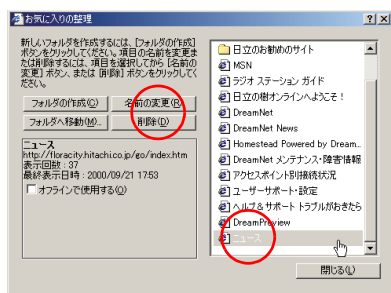
インターネットブラウザーのトラブル

Q

「お気に入り」が増えすぎた

A

・フォルダーを作成してお気に入りのページをフォルダーに移動します。

・お気に入りのページを削除します。
1 インターネットエクスプローラを起動し、[お気に入り] － [お気に入りの整理] を選択する。
2 削除するホームページを選択し、[削除] ボタンをクリックし、[はい] ボタンをクリックする。

参照

お気に入りの整理について→インターネットブラウザーのヘルプをご覧ください。

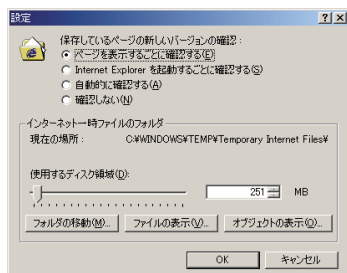
開いたホームページが更新されていない

A

・キャッシュに保存されている一時ファイルを更新するように設定を変更します。

1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ― [インターネットオプション] を選択する。

2 [全般] タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [設定] ボタンをクリックする。

3 [保存しているページの新しいバージョンの確認] で [ページを表示するごとに確認する]、[Internet Explorer を起動するごとに確認する]、[自動的に確認する] のいずれかを選択する。

・一時ファイルを削除します。

1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ― [インターネットオプション] を選択する。

2 [全般] タブをクリックし、[インターネット一時ファイル] の [ファイルの削除] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする。

・HDD のクリーンアップを実行して一時ファイルを削除します。

1 [スタート] ボタン― [プログラム] ― [アクセサリ] ― [システムツール] ― [ディスククリーンアップ] を選択する。[ドライブの選択] 画面が表示される。

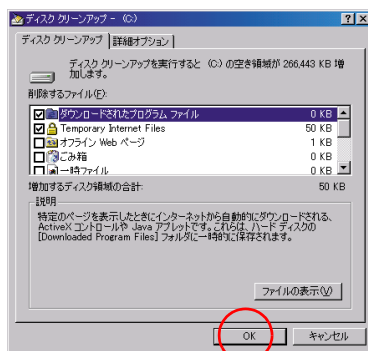
2 ディスククリーンアップするドライブを選択し、[OK] ボタンをクリックする。

3 [　ディスククリーンアップ　] タブをクリックする。削除するファイルのチェックボックスをオン / オフし、[OK] ボタンをクリックする。

4 確認のメッセージで [はい] ボタンをクリックする。

Q

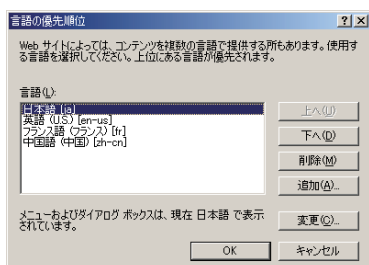
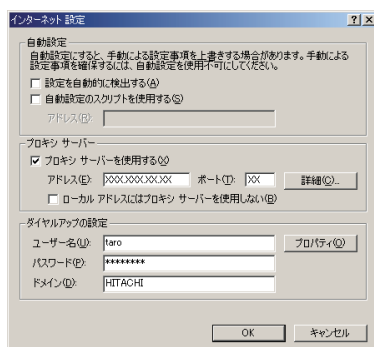
ホームページが文字化けする

A

・表示している文字の種類を日本語に変更します。
　1 インターネットエクスプローラで、[表示] ― [エンコード] ― [日本語 (シフト JIS)] または [日本語 (自動選択)] を選択する。

・日本語を優先して表示する設定に変更します。
　1 インターネットエクスプローラで、[ツール] ― [インターネットオプション] を選択する。
　2 [全般] タブをクリックし、[言語] ボタンをクリックする。
　3 [日本語 [ja]] を選択し、[上へ] ボタンをクリックし、一番上に移動する。[日本語 [ja]] がないときは、[追加] ボタンをクリックし、[日本語 [ja]] を選択し [OK] ボタンをクリックする。

Q

ホームページの表示が遅い

A

・プロキシサーバーを利用します。
　1 デスクトップの [Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する。
　2 [接続] タブをクリックし、使用しているダイヤルアップが選択されていることを確認し、[設定] ボタンをクリックする。
　3 [プロキシサーバーを使用する] をチェックし、アドレスとポートを入力する。

・画像の表示をやめます。
　1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ― [インターネットオプション] を選択する。
　2 [詳細設定] タブをクリックし、「マルチメディア」の [画像を表示する] のチェックを外す。

3 [OK] ボタンをクリックする。

・ActiveX や Java を無効にします。

1 インターネットエクスプローラを起動し、[ツール] ─ [インターネットオプション] を選択する。
2 [セキュリティ] タブをクリックし、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。
3「 ActiveX コントロールとプラグインの実行」の [無効にする] を選択し、「 Java の許可」の [Java を無効にする] を選択する。
4 [OK] ボタンをクリックする。

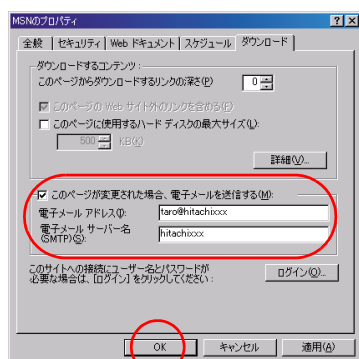
Q

ホームページがいつ更新されたかいちいち調べるのは大変

A

ホームページの内容が更新された通知をメールで受け取ることができます。ホームページをお気に入りに追加し、更新通知を送信するように設定します。

1 インターネットに接続し、更新された通知を送信させるホームページを表示する。
2 [お気に入り] ─ [お気に入りに追加] を選択し、フォルダーを選択して [OK] ボタンをクリックする。
3 [お気に入り] ─ [お気に入りの整理] を選択する。
4 更新通知を送信させるホームページを選択し、[オフラインで使用する] をチェックする。[プロパティ] ボタンが表示される。
5 [プロパティ] ボタンをクリックする。[XXX のプロパティ] 画面が表示される。
6 [ダウンロード] タブをクリックする。

7 [このページが変更された場合、電子メールを送信する] をチェックし、電子メールアドレスと電子メールサーバー名を入力し、[OK] ボタンをクリックする。

8 [閉じる] ボタンをクリックする。インターネットに接続し、同期化される。

メールの送受信がうまくいかない

Q

メールの送受信ができない

A

・サーバーが停止しているかを確認します。

・受信メール（POP3）サーバー、送信メール（SMTP）サーバー、アカウント名、パスワードが正しいか確認します。
1 Outlook Express を起動し、[ツール] ― [アカウント] を選択する。
2 [メール] タブをクリックし、使用するアカウントが選択されていることを確認し、[プロパティ] ボタンをクリックする。
3 [サーバー] タブをクリックし、正しい受信メール (POP3) サーバー、送信メール (SMTP) サーバー、アカウント名、パスワードを入力する。
4 [OK] ボタンをクリックする。

Q

送信したメールが相手に届いていない

A

・宛先のメールアドレスが正しいかを確認します。

・メールサーバーが停止しているかを確認します。

・添付されているデータのサイズが大きすぎ、メールサーバーで受信できる範囲を超えています。添付したデータのサイズを小さくしてもう一度送信します。

Q

受信したメールが文字化けしている

A

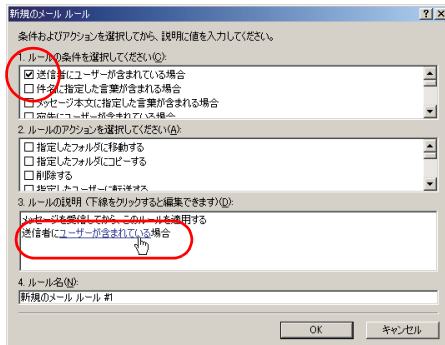
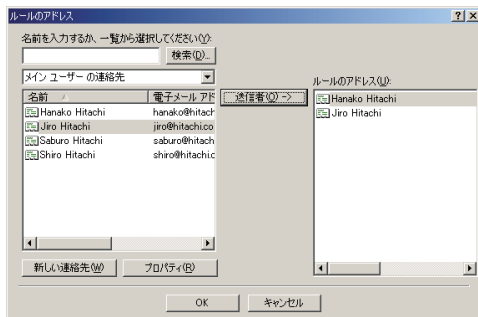
・表示するフォントを日本語にします。Outlook Express で、[表示] ― [エンコード] ― [日本語 (自動選択)] を選択します。

・添付データの送信形式を MIME の「Base 64 形式」または「なし」で送信するように送信相手に依頼します。

受信メールをいちいち手作業で分類するのは手間がかかる

A

受信メールを自動的に振り分けることができます。ここでは、Outlook Expressで、指定した送信者からのメールを自動的に振り分ける場合を例に説明します。

1 [ツール] ー [メッセージルール] ー [メール] を選択する。[メッセージルール] の [メールルール] タブが表示される。
2 [1. ルールの条件を選択してください] の [送信者にユーザーが含まれている場合] をチェックする。
3 [3. ルールの説明] の「送信者にユーザーが含まれている場合」をクリックする。

4 [アドレス帳] ボタンをクリックし、送信者を選択し [送信者] ボタンをクリックし、[ルールのアドレス] に表示する。他の送信者も選択する場合は、同様にする。[OK] ボタンを 2 回クリックし、[新規のメールルール] に戻る。

5 [2. ルールのアクションを選択してください] の [指定したフォルダに移動する] をチェックし、[3. ルールの説明 (下線をクリックすると編集できます)] の「指定したフォルダ」をクリックする。
6 [アイテムの移動先] で受信メールを移動するフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックする。
7 [4. ルール名] に分類する名称を入力し、[OK] ボタンを 2 回クリックする。

その他のソフトウェアのトラブル

Q

アプリケーションのインストール時、バージョン競合のメッセージが表示された

A

通常は、[はい] ボタンをクリックして新しいファイルを使用します。アプリケーションによって個別に指示がある場合は、その指示に従います。

Q

VShield の [システムスキャンプロパティ] の [スキャン] タブで [圧縮ファイル] をチェックしても圧縮ファイルのスキャンが行われない

A

VShiled はファイルの圧縮、解凍時にスキャンを行います。

Q

VirusScan、VShield がうまく動作しない

A

・VirusScan はスケジューラでのネットワークドライブのスキャンは行いません。ネットワークドライブをスキャンするときは、[オンデマンドスキャン] をご使用ください。
・[スクリーンスキャン]、[cc:Mail スキャン] は動作しません。
・「書き込み禁止」となっている FD でコンピューターウィルスを発見した場合は、FD のライトプロテクトノッチを「書き込み可能」側に移動してからコンピューターウィルスへの操作を行ってください。ライトプロテクトノッチが「書き込み禁止」となったまま操作を行うと、画面の表示と実際の動作が異なる場合があります。
・VirusScan コンソールの [DAT の自動アップデート] の [ログ] タブで、[ログへの記録] チェックボックスをオフにしてもログが作成されます。
・VShield の [システムスキャンプロパティ] の [アクション] に表示されている次の設定項目は、設定しても正しく動作しません。設定しないでください。
[感染しているファイルをフォルダに移動]
[感染しているファイルからウィルスを削除]
[感染しているファイルを削除]

付録

アプリケーションのお問い合わせ先

このマニュアルに記載していて次表に記載されていないソフトウェアについては、HITAC カスタマ・アンサ・センタまでお問い合わせください。

参照
HITAC カスタマ・アンサ・センタのお問い合わせ先→『パソコンを準備する』前付けの「お使いになる前に」

アプリケーション名	問い合わせ先	電話番号	FAX 番号
Microsoft Office XP	マイクロソフトスタンダードサポート	03-5354-4500 06-6347-4400	—
AOL	AOL サポートセンター	0120-275-265	—
BIGLOBE	BIGLOBE カスタマーサポート	0120-86-0962	—
ドリームネット	ドリームネットインフォメーションセンター	0120-5656-86	045-222-8561
isao	isao サポートセンター	0570-057-050	—
OCN	OCN インフォメーションデスク	0120-047-815	—
ODN	ODN サポートセンター	0088-86 （サービス案内） 0088-85 （接続サポート）	0088-22-8850
東京電話	TTnet お客様センター	0081-1588	—
インターネットマーク	株式会社 日立製作所 公共システム事業部 インターネットマークス事業推進 G	e-mail: internet-marks@ml.itg.hitachi.co.jp (e-mail のみのお問い合わせとなります)	
SLM-TEGAKI 認証お試し版	HITAC カスタマ・アンサ・センタ	0120-2580-91	—
Norton Ghost 2002			
Acrobat Reader			
CyberSupport for HITACHI			

※インストールされているアプリケーションは、機種によって異なります。
※各ソフトウェアの責任元は、各開発元になります。
※添付ソフトウェア以外の市販のアプリケーションについては、各開発元にお問い合わせください。

さくいん

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。
それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corp.の登録商標です。
・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

使い勝手を良くする

初 版　2003年 2月

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社　日立製作所
インターネットプラットフォーム事業部

〒243-0435 神奈川県海老名市下今泉810番地
お問い合わせ先：HCAセンタ 0120-2580-91

NL0334000-1